WILCOMM

アドレス設定ガイド

AS0001 (Last Update : 2002/5/7)

WilComm AS400 V7.15

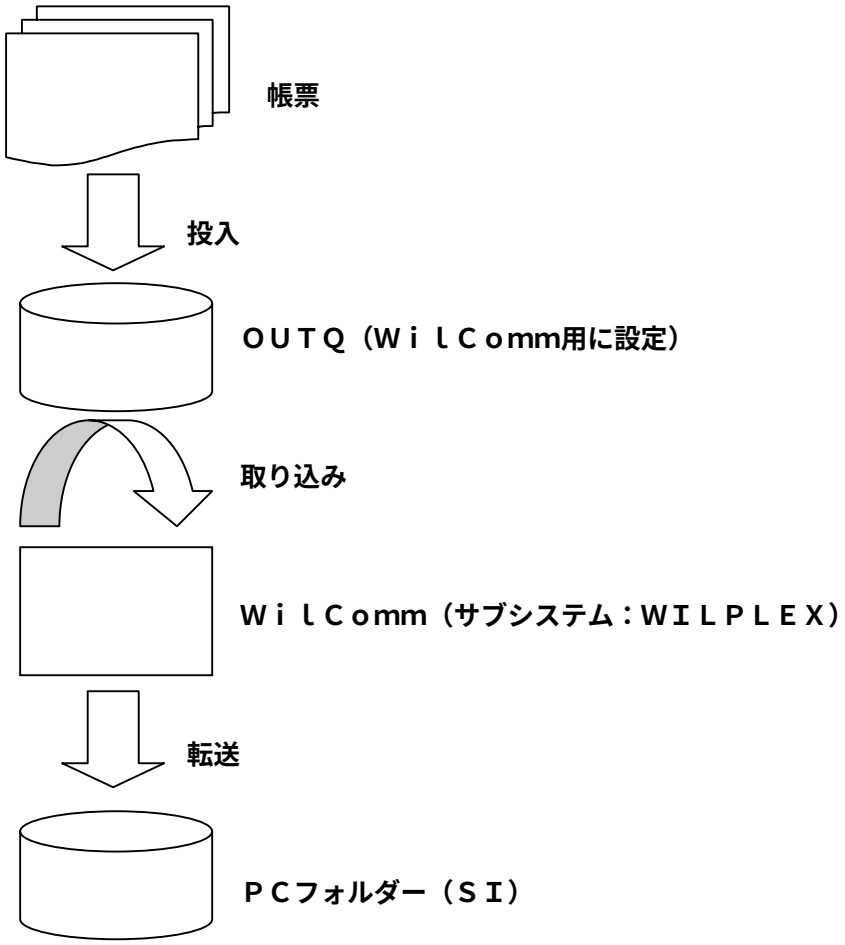
© Copyright 2000
K.I.S.S. Inc.

K.I.S.S. INC.

WilComm 機能概要

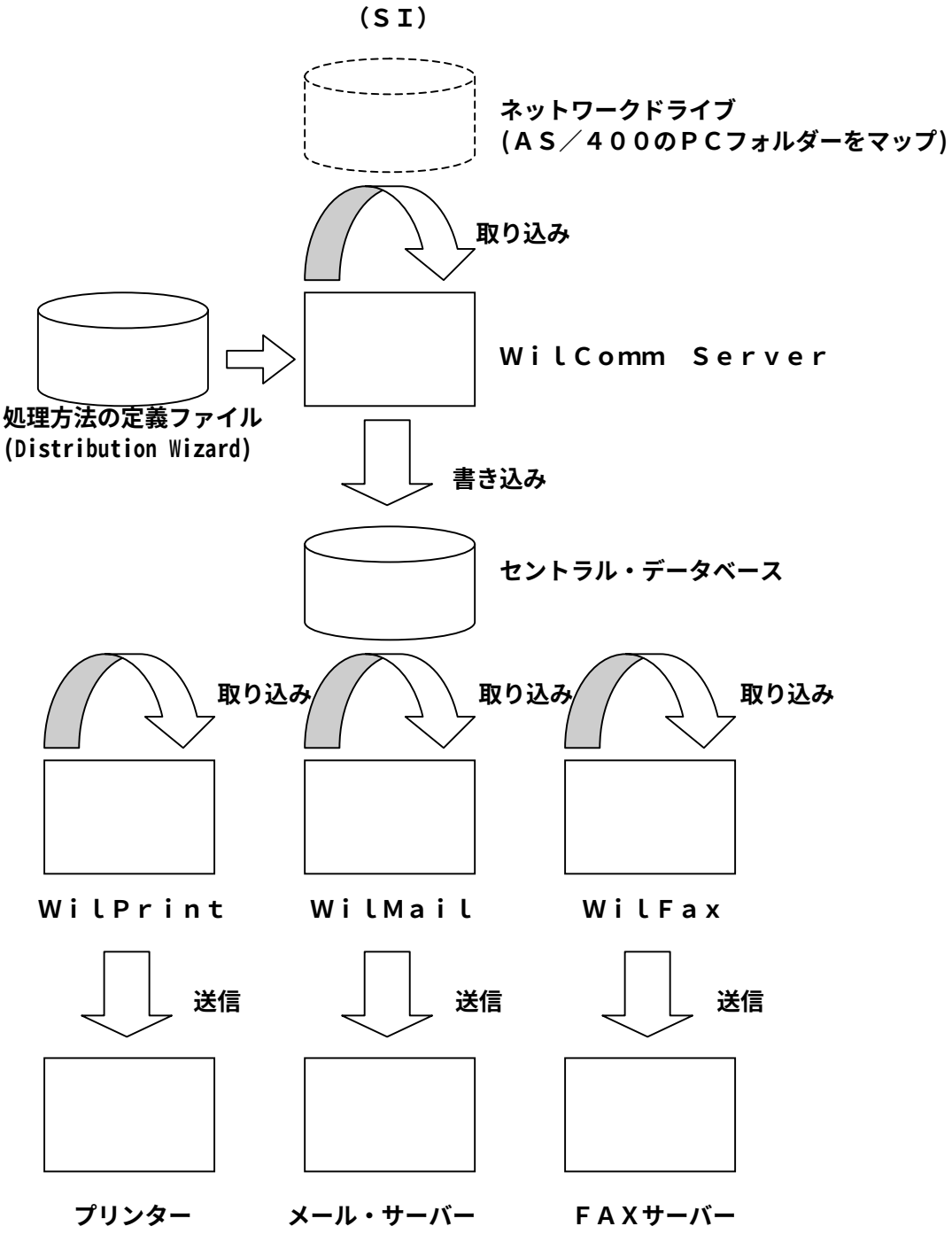
ＷｉｌＣｏｍｍは、ＡＳ／４００で作成された帳票を配信するためのシステムです。
配信方法として、プリンター、Ｅ－ｍａｉｌ、ＦＡＸを選択することが可能です。

ＡＳ／４００での送信処理



WilComm に監視対象として設定されたＯＵＴＱを WilComm のサブシステム WILPLEX が監視しています。
ＯＵＴＱにスプールファイルが投入されると、WilComm がスプールデータを取り込んでＰＣサーバーへ送るためのフォーマットに整形されます。
整形されたデータは、AS/400 内のＰＣフォルダー（共用フォルダー）へコピーされ、この際に EBCDIC から ASCII へのコード変換が行われます。

ＰＣサーバーでの送信処理



AS/400 のＰＣフォルダーがＰＣサーバー側でネットワークドライブとして割り当てされています。
WilComm Server というプログラムが、常時このネットワークドライブを監視しています。
AS/400 側の処理でネットワークドライブにファイルが作成されると、これをＰＣサーバー側に取り込み、ＰＣサーバー側に設定された処理方法を定義したファイルを検索し、条件が一致する定義があれば、これに基づいてセントラル・データベースに書き込まれます。
WilPrint、WilMail、WilFax の各プログラムは、セントラル・データベースを常時監視していて新しいデータが追加されると、それを取り込んで処理を行います。

ＡＳ／４００の設定

WilComm が監視するＯＵＴＱを設定します。

１．サブスクライバーの登録

```
MN000701          WILCOMM スプールファイル配布管理システム
                                                    システム ：   S103GWMM
次の中から１つを選んでください。

     1. 新規メッセージの作成
     2. メッセージ・リストの表示
     3. ディレクトリー照会
     4. ディレクトリー・メンテナンス
     5. WILPLEX ユーザーへの AS/400 メッセージ送信
     6. 世界時計
     7. クイック・メッセージ表示
     8. クイック送信

    11. ウィルスプール・ユーティリティ

    40. ウィルコム OUTQ インターセプター・メニュー

    50. スプールファイル・インターフェース・メニュー
                                                          続く ...
選択項目またはコマンド
===> 4
F3= 終了    F4=ﾌﾟﾛﾝﾌﾟﾄ    F9=ｺﾏﾝﾄﾞ の複写    F12= 取消し    F13=ﾕｰｻﾞｰ･ｻﾎﾟｰﾄ
F16=AS/400 ﾒｲﾝ･ﾒﾆｭｰ
```

ユーザーQSECOFR でサインオンします。
GO W で WilComm のメインメニューを表示させます。
WilComm のメニューからオプション４（ディレクトリー・メンテナンス）を実行します。

[ディレクトリー]とは・・・
　送信先のアドレスを登録するアドレス帳のようなものです。

```
QSECOFR            WILCOMM - ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘｰ･ﾏｽﾀｰ･ﾒﾝﾃﾅﾝｽ                2:27PM  0/09/25
ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘｰ を作成する場合は ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘｰ 名を入力 :          __________
  ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘｰ 名称                                                ｴﾝﾄﾘｰ 数
_ MAIN       FOR MAIN WILCOMM ENTRIES                                 42



2= 更新    3=ｻﾌﾞｽｸﾗｲﾊﾞｰ  4= 削除    5= 他の ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘｰ との比較    6= 印刷
F3= 終了                                F12= 前画面
```

ディレクトリーMAIN の左に、オプション３を入力して実行

[サブスクライバー]とは・・・
　送信先のアドレスと送信方法を合わせて指定するアドレス情報です。

```
QSECOFR          WILCOMM - ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘｰ  ｻﾌﾞｽｸﾗｲﾊﾞｰ ﾒｲﾝﾃﾅﾝｽ        2:29PM  0/09/25
ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘｰ : MAIN        FOR MAIN WILCOMM ENTRIES
ｻﾌﾞｽｸﾗｲﾊﾞｰ を作成する場合 ｻﾌﾞｽｸﾗｲﾊﾞｰ 名を入力 : STD132
                        ｻﾌﾞｽｸﾗｲﾊﾞｰ の開始位置 :
  ｻﾌﾞｽｸﾗｲﾊﾞｰ                      ﾉｰﾄ
_ DEFAULT-WF                      ｳｨﾙﾌｧｯｸｽｻｰﾋﾞｽ
_ DEFAULT-WM                      ｳｨﾙﾒｰﾙｻｰﾋﾞｽ
_ DEFAULT-WP                      ｳｨﾙﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾋﾞｽ
_ DEMOFAX                         ﾌｧｯｸｽﾃﾞﾓ
_ DEMOMAIL                        ﾒｰﾙﾃﾞﾓ
_ DISTRIBUTOR-ADDRESSED            配布 ﾌｧｲﾙ での ｱﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ
_ FAX 装置                         ファックス送信
_ FAX & MAIL                      FAX & MAIL
_ GROUP                           GROUP ADR BY NABA
_ INVOICE                         INOVICE




1= 更新   2=ｱﾄﾞﾚｽ   3=ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘｰ   4= 削除
F3= 終了     F7= 他の ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘｰ と ｻﾌﾞｽｸﾗｲﾊﾞｰ を比較    F12= 前画面
```

右上の「ｻﾌﾞｽｸﾗｲﾊﾞｰ名を入力」の欄に作成したいｻﾌﾞｽｸﾗｲﾊﾞｰ名を入力して実行（例：STD132）

```
QSECOFR                 WILCOMM サブスクライバー登録                    2:40PM  0/09/25
ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘｰ :  MAIN        FOR MAIN WILCOMM ENTRIES
ｻﾌﾞｽｸﾗｲﾊﾞｰ: STD132
 受取人
      名 :  STD132 ____________________________________

 電話 :      ____________________
             ____________________
 住所
  1      :  ____________________________________
  2      :  ____________________________________
  3      :  ____________________________________
 担当者
  名                    ﾉｰﾄ
  ____________________  NOTE1 ____________________________________
  ____________________  NOTE2 ____________________________________
  ____________________  NOTE3 ____________________________________
  ____________________  NOTE4 ____________________________________
  ____________________  NOTE5 ____________________________________
  ____________________  NOTE6 ____________________________________

                        F7=ｻﾌﾞｽｸﾗｲﾊﾞｰ 他 ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘｰ 選択
F3= 終了   F12= 前画面
```

この画面は任意入力ですので、特に入力する必要はありません
実行キーを押して次へ進みます。

```
QSECOFR            WILCOMM 新規アドレス：サービス選択          2:50PM  0/09/25
   サービスコード及び名称                                       パラメーター
_ WD DISTRIBUTOR SERVICE                    VIA WILCOMM              1
_ WF FAX – THE "WILFAX" SERVICE            VIA WILCOMM              10
_ WM E-MAIL - THE "WILMAIL" SERVICE          VIA WILCOMM            10
_ WP PRINT - THE "WILPRINT" SERVICE         VIA WILCOMM             10

1- 選択
```

サービスコードを１つ選択します。

WD：複数の送信方法が混在しているような場合に指定します。
　　この場合、指定するデフォルトアドレスはありません
WF：FAX で送信する場合に指定します。
　　次画面で、FAX 番号入力画面が表示されます。
WM：MAIL で送信する場合に指定します。
　　次画面で、メールアドレス入力画面が表示されます。
WP：プリンターへ出力する場合に指定します。
　　次画面で、プリンター名入力画面が表示されます。

ＷＤを指定した場合

```
QSECOFR              WILCOMM - ADDRESS MAINTENANCE (ADD)        2:57PM  0/09/25

ｻﾌﾞｽｸﾗｲﾊﾞｰ: STD132
ｼｰｹﾝｽ    :

ｻｰﾋﾞｽ  :    WD
             DISTRIBUTOR SERVICE
                     VIA WILCOMM

パラメータ名称                 パラメータ値
  入力不要　実行キーを打鍵 .... _                          ( 任意 )



ﾉｰﾄ : ____________________________

F3= 終了    F12= 前画面
```

特に入力の必要はありません

ＷＦを指定した場合

```
QSECOFR              WILCOMM - ADDRESS MAINTENANCE (ADD)        3:01PM  0/09/25

ｻﾌﾞｽｸﾗｲﾊﾞｰ: STD132
ｼｰｹﾝｽ    :

ｻｰﾋﾞｽ  :    WF
             FAX - THE "WILFAX" SERVICE
                   VIA WILCOMM

パラメータ名称                  パラメータ値
FAX 番号 . . . . . . . . . . . .
ｶﾊﾞｰ･ﾍﾟｰｼﾞ:YES/ALCOM ｶﾊﾞｰ 名                          ( 任意 )
ｶﾊﾞｰ･ﾍﾟｰｼﾞ: TO ( 個人名 )                            ( 任意 )
ｶﾊﾞｰ･ﾍﾟｰｼﾞ: 件名  . . . . . .                        ( 任意 )
ｶﾊﾞｰ･ﾍﾟｰｼﾞ: ﾒｯｾｰｼﾞ･ﾃｷｽﾄ  1 . .                      ( 任意 )
ｶﾊﾞｰ･ﾍﾟｰｼﾞ: ﾒｯｾｰｼﾞ･ﾃｷｽﾄ  2 . .                      ( 任意 )
ｶﾊﾞｰ･ﾍﾟｰｼﾞ: ﾒｯｾｰｼﾞ･ﾃｷｽﾄ  3 . .                      ( 任意 )
SUBJ & MSG ﾃｷｽﾄ ﾌﾚｰｽﾞ , ﾌﾚｰｽﾞ                         ( 任意 )
 元  . . . . . . . . . . . . . .                      ( 任意 )
ﾌｫｰﾑ･ﾀｲﾌﾟ 名 . . . . . . . . . . FORMTYPE              ( 任意 )
ﾉｰﾄ :

F3= 終了    F12= 前画面
```

ＯＵＴＱ毎に１つの送信先を指定する場合には、送信先のＦＡＸ番号を入力します。
それ以外の場合は、存在しないような番号（例：999999999999999）を入力します。
ＦＡＸ番号欄以外、入力の必要はありません

WMを指定した場合

```
QSECOFR            WILCOMM - ADDRESS MAINTENANCE (ADD)        3:07PM  0/09/25

ｻﾌﾞｽｸﾗｲﾊﾞｰ: STD132
ｼｰｹﾝｽ    :

ｻｰﾋﾞｽ  :    WM
             E-MAIL - THE "WILMAIL" SERVICE
                      VIA WILCOMM

パラメータ名称                  パラメータ値
E-ﾒｰﾙ  ｱﾄﾞﾚｽ ("@" ﾏｰｸ の前 )   ADMIN
 ( 続き ...)                    ____________________   ( 任意 )
ﾄﾞﾒｲﾝ 名  . . . . . . . . . . @ KISS21.CO.JP
 ( 続き ...)                    ____________________   ( 任意 )
ｲﾒｰｼﾞ 送信 : SW /FRMT /F3 ﾌｫｰﾑ PDF                     ( 任意 )
SUBJ & MSG ﾃｷｽﾄ ﾌﾚｰｽﾞ , ﾌﾚｰｽﾞ   ____________________   ( 任意 )
ﾘｻﾞｰﾌﾞ 添付 ﾌｧｲﾙ･ﾘｽﾄ          ____________________   ( 任意 )
ﾘｻﾞｰﾌﾞ 送信 : 日付と時刻 . . . ____________________   ( 任意 )
ﾘｻﾞｰﾌﾞ 件名  行  . . . . . . . ____________________   ( 任意 )
ﾘｻﾞｰﾌﾞ FROM  . . . . . . . . . ____________________   ( 任意 )
ﾉｰﾄ : ____________________________

F3= 終了    F12= 前画面
```

ＯＵＴＱ毎に１つの送信先を指定する場合には、送信先のメールアドレスを入力します。
それ以外の場合は、適当なアドレス（例：システム管理者）を入力します。
メールアドレス、ドメイン名欄以外、入力の必要はありません

ＷＰを指定した場合

```
QSECOFR              WILCOMM - ADDRESS MAINTENANCE (ADD)        3:11PM  0/09/25

ｻﾌﾞｽｸﾗｲﾊﾞｰ: STD132
ｼｰｹﾝｽ    :

ｻｰﾋﾞｽ  :    WP
             PRINT - THE "WILPRINT" SERVICE
                     VIA WILCOMM

パラメータ名称                  パラメータ値
ﾌﾟﾘﾝﾀｰ 名  . . . . . . . . . . .                          ( 任意 )
ﾌｫｰﾑ 名  . . . . . . . . . . .                           ( 任意 )
 給紙 :1ﾍﾟｰｼﾞ/2ﾍﾟｰｼﾞ 以降      DEFAULT TRAY/DEFAULT TRAY  ( 任意 )
ｺﾋﾟｰ 枚数  . . . . . . . . . . 1                          ( 任意 )
ﾍﾟｰｼﾞ 範囲 : ALL, 開始 - 終了  ALL                        ( 任意 )
ﾃﾞｭﾌﾟﾚｸｽ:ﾌﾘｯﾌﾟｻｲﾄﾞ:ﾛﾝｸﾞ/ｼｮｰﾄ  _                        ( 任意 )
COLLATE, RESOL, 再印刷          Y,H,Y                     ( 任意 )
ﾃﾞｰﾀﾉﾐ Y/N,  ﾌｧｲﾙ へ書き出し   N,                        ( 任意 )
 実行される F3 ｱｸｼｮﾝ ﾘｽﾄ 名                               ( 任意 )
WILCOMM ﾌｫｰﾑ･ﾀｲﾌﾟ 名 . . . . . FORMTYPE                    ( 任意 )
ﾉｰﾄ :

F3= 終了    F12= 前画面
```

プリンターの指定はパソコン側の設定で行なう為、ここは入力する必要がありません

２．ＯＵＴＱの設定

```
MN000701          WILCOMM スプールファイル配布管理システム
                                                    システム :   S103GWMM
次の中から１つを選んでください。

      1. 新規メッセージの作成
      2. メッセージ・リストの表示
      3. ディレクトリー照会
      4. ディレクトリー・メンテナンス
      5. WILPLEX ユーザーへの AS/400 メッセージ送信
      6. 世界時計
      7. クイック・メッセージ表示
      8. クイック送信

     11. ウィルスプール・ユーティリティ

     40. ウィルコム OUTQ インターセプター・メニュー

     50. スプールファイル・インターフェース・メニュー
                                                          続く ...
選択項目またはコマンド
===> 40
F3= 終了    F4=ﾌﾟﾛﾝﾌﾟﾄ    F9=ｺﾏﾝﾄﾞ の複写    F12= 取消し    F13=ﾕｰｻﾞｰ･ｻﾎﾟｰﾄ
F16=AS/400 ﾒｲﾝ･ﾒﾆｭｰ
```

WilComm のメニューからオプション 40（ウィルコム OUTQ インターセプター・メニュー）を実行

```
MN000702          ウィルコム OUTQ インターセプター・メニュー
                                                    システム :   S103GWMM
次の中から１つを選んでください。

     1. 監視対象 OUTQ メンテナンス

    30. WILCOMM スプールファイル配布管理システム

    50. スプールファイル・インターフェース・メニュー

    60. アプリケーション・コントロール・メニュー

    70. WILCOMM セキュリティ・メニュー

    80. デモンストレーション・メニュー

    90. サイン・オフ

                                                              終り
選択項目またはコマンド
===> 1
F3= 終了    F4=ﾌﾟﾛﾝﾌﾟﾄ    F9=ｺﾏﾝﾄﾞ の複写    F12= 取消し    F13=ﾕｰｻﾞｰ･ｻﾎﾟｰﾄ
F16=AS/400 ﾒｲﾝ･ﾒﾆｭｰ
(C) 著作権 WILKINSON COMPUTER SERVICES                        VSN : 7.11
```

オプション１（監視対象 OUTQ メンテナンス）を実行

```
WC0101          WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ 制御 ﾌｧｲﾙ ﾒﾝﾃﾅﾝｽ                0/09/25
                                                                15:43:06
ｽﾍﾟｼﾌｨｯｸ ｺｰﾄﾞ . . . . . . . . P1

   又は ｱﾙﾌｧｻｰﾁ . . . . . . . _________

F3= 終了
```

スペシフィックコードに任意の２文字を入力します。（例：Ｐ１）

すでに登録済みのスペシフィックコードを入力しますと、登録されている内容が表示され、
修正を行なうことができます。

新規で追加する場合は存在しないスペシフィックコードを入力すると追加できます。

また、何も入力しないで実行キーを押すと登録されているスペシフィックコードの一覧が
表示されます。

[スペシフィックコード]とは・・・
　先ほど作成したサブスクライバーコード（アドレス情報）とＯＵＴＱを１対１で結びつけ、
　この組み合わせをスペシフィックコードとして登録します。
　スペシフィックコード中に設定されたＯＵＴＱにスプールファイルを投入すると、
　スペシフィックコードの情報が付加されてＰＣサーバー側へ渡され、ディストリ
　ビューションウィザード（後述）で配信条件として使用することができます。

```
WC0101          WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ 制御 ﾌｧｲﾙ ﾒﾝﾃﾅﾝｽ                 0/09/25
                                                                15:43:06
ｽﾍﾟｼﾌｨｯｸ ｺｰﾄﾞ . . . . . . . . P1

ｻｰﾋﾞｽ 記述  . . . . . . . . . STD132

WILCOMM ｻｰﾋﾞｽ ｺｰﾄﾞ. . . . . WP                          ( WF,WM,WP OR WD )

 出力待行列 . . . . . . . . . STD132
        ﾗｲﾌﾞﾗﾘｰ. . . . . .   WILPLEXCHG
ﾃﾞﾌｫﾙﾄ  ｻﾌﾞｽｸﾗｲﾊﾞｰ. . . . . STD132

ﾒｯｾｰｼﾞ 転送をする . . . . . Y                           ( N / Y (DFT=N))
        ﾒｯｾｰｼﾞ  ｵｰﾅｰ . . .   *SPLOWN

 処理後、
     保管 / 削除の指定 . .  A                            ( A / D (DFT=A))
     保管出力待行列  . . .   STD132SV
            ﾗｲﾌﾞﾗﾘｰ. . .     WILPLEXCHG
         保管日数  . . . .     7


F12= 戻る                                          F17= 行列作成
```

サービス記述に適当な名称を入力します。（１文字目は必ずシングルバイト文字を使用して下さい。）
サービスコードは、デフォルトサブスクライバーに指定するサブスクライバーに合わせます。
WilComm で処理を行なう時にスプールを投入する出力待行列を指定します。
この時点で出力待行列を作成しておく必要はありません
デフォルトサブスクライバーを指定します。
ＯＵＴＱへ投入された印刷物の、デフォルトの送信先として使用されます。
メッセージ転送をするに Y を入力します。
N を指定すると、メッセージリストに送信状況が表示されなくなります。
メッセージオーナーを指定します。
*SPLOWN を指定した場合は、スプールの作成者宛てにメッセージリストが作成されます。
保管／削除の指定に A を入力します。
D を指定すると、処理が終わったスプールファイルは削除されてしまいます。
処理済のスプールファイルを保管するための、保管出力待行列を指定します。
この時点で出力待行列を作成しておく必要はありません
保管日数に処理後のスプールファイルを保管する日数を指定します。
指定できるのは１～９９９で、９９９を指定した場合、スプールは削除されません

Ｆ１７キーを押すと、ＯＵＴＱの作成と設定内容の保管が行なわれます。
もしすでに存在しているＯＵＴＱを指定した場合は、Ｆ１７ではなく実行キーを押します。

３．モニタージョブの再起動

```
MN000701          WILCOMM スプールファイル配布管理システム
                                                    システム :   S103GWMM
次の中から１つを選んでください。

      1. 新規メッセージの作成
      2. メッセージ・リストの表示
      3. ディレクトリー照会
      4. ディレクトリー・メンテナンス
      5. WILPLEX ユーザーへの AS/400 メッセージ送信
      6. 世界時計
      7. クイック・メッセージ表示
      8. クイック送信

     11. ウィルスプール・ユーティリティ

     40. ウィルコム OUTQ インターセプター・メニュー

     50. スプールファイル・インターフェース・メニュー
                                                          続く ...
選択項目またはコマンド
===> 60
F3= 終了    F4=ﾌﾟﾛﾝﾌﾟﾄ    F9=ｺﾏﾝﾄﾞ の複写    F12= 取消し    F13=ﾕｰｻﾞｰ･ｻﾎﾟｰﾄ
F16=AS/400 ﾒｲﾝ･ﾒﾆｭｰ
```

WilComm メニューの 60 を実行します。

（オプション 60 は次ページキーを押すと画面に表示されます。）

```
WILCOMM                    WILCOMM メッセージシステム

 次の中から１つを選んでください。
   11.  メッセージ・プレフィックス・メンテナンス
   12.  ユーザー・プロファイル・メンテナンス
   13.  システム設定メンテナンス
   14.  サービス詳細メンテナンス
   15.  メッセージ・ソースファイル作成
   16.  コントローラー・ユニット照会
   17.  サービス照会
   18.  モニター開始
   19.  モニター活動状況照会 (SUBSYSTEM WILPLEX)
   20.  モニター停止 (SUBSYSTEM WILPLEX)
   21.  WILPLEX エディター・特別機能メンテナンス
   22.  世界時計メンテナンス
   23.  検索テーブル・メンテナンス
   24.  WILPLEX ファイルの再構成
   25.  ユーザー定義オプション・メンテナンス
 選択項目またはコマンド
===> 20

F3= 終了    F4= プロンプト    F9= コマンドの複写    F12= 取消し
F13= 援助情報    F16=AS/400 メイン・メニュー
```

アプリケーションコントロールメニューの画面から 20 を実行します。

メニューから 18 を実行して、モニタージョブを開始します。

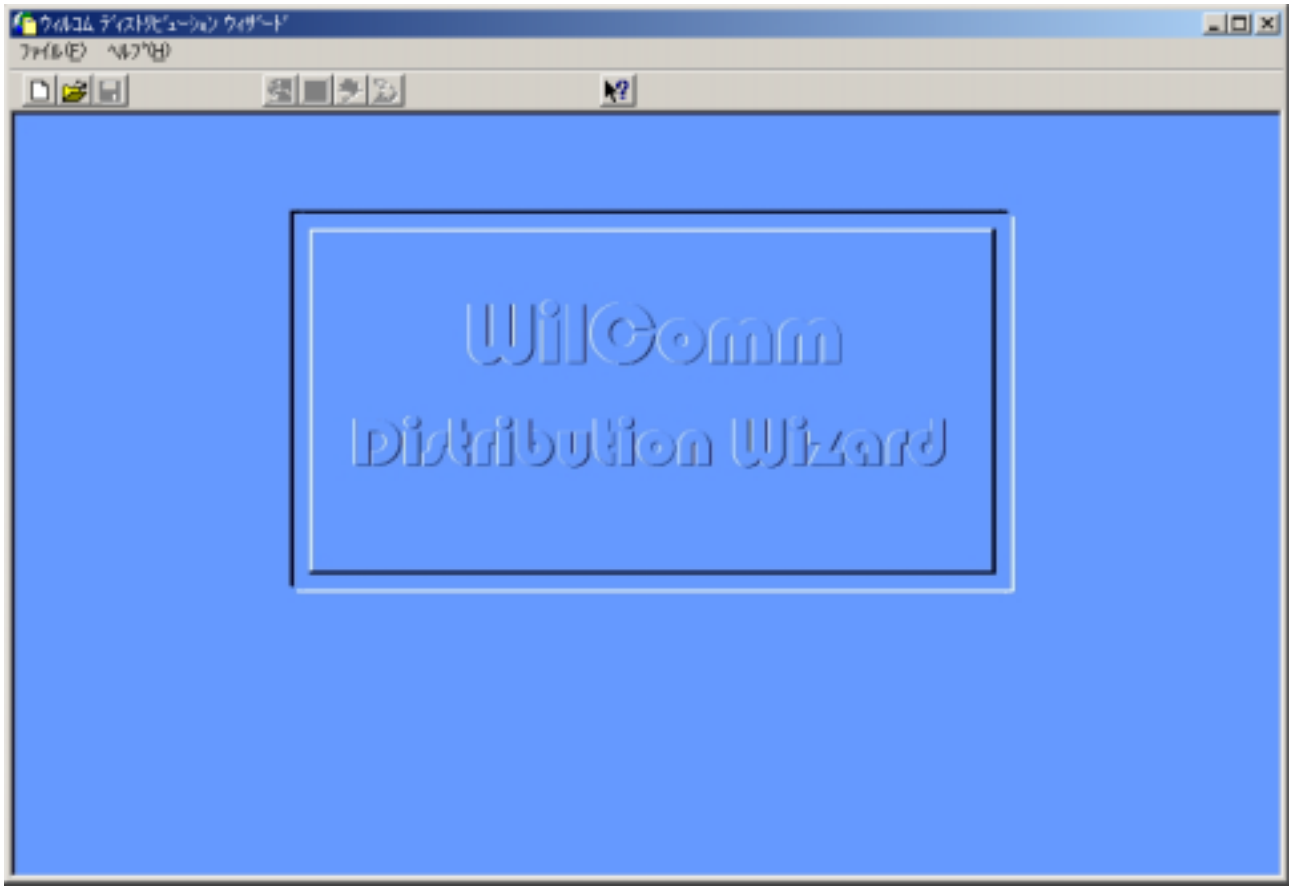
AS/400 側の設定は以上です。

ＰＣの設定

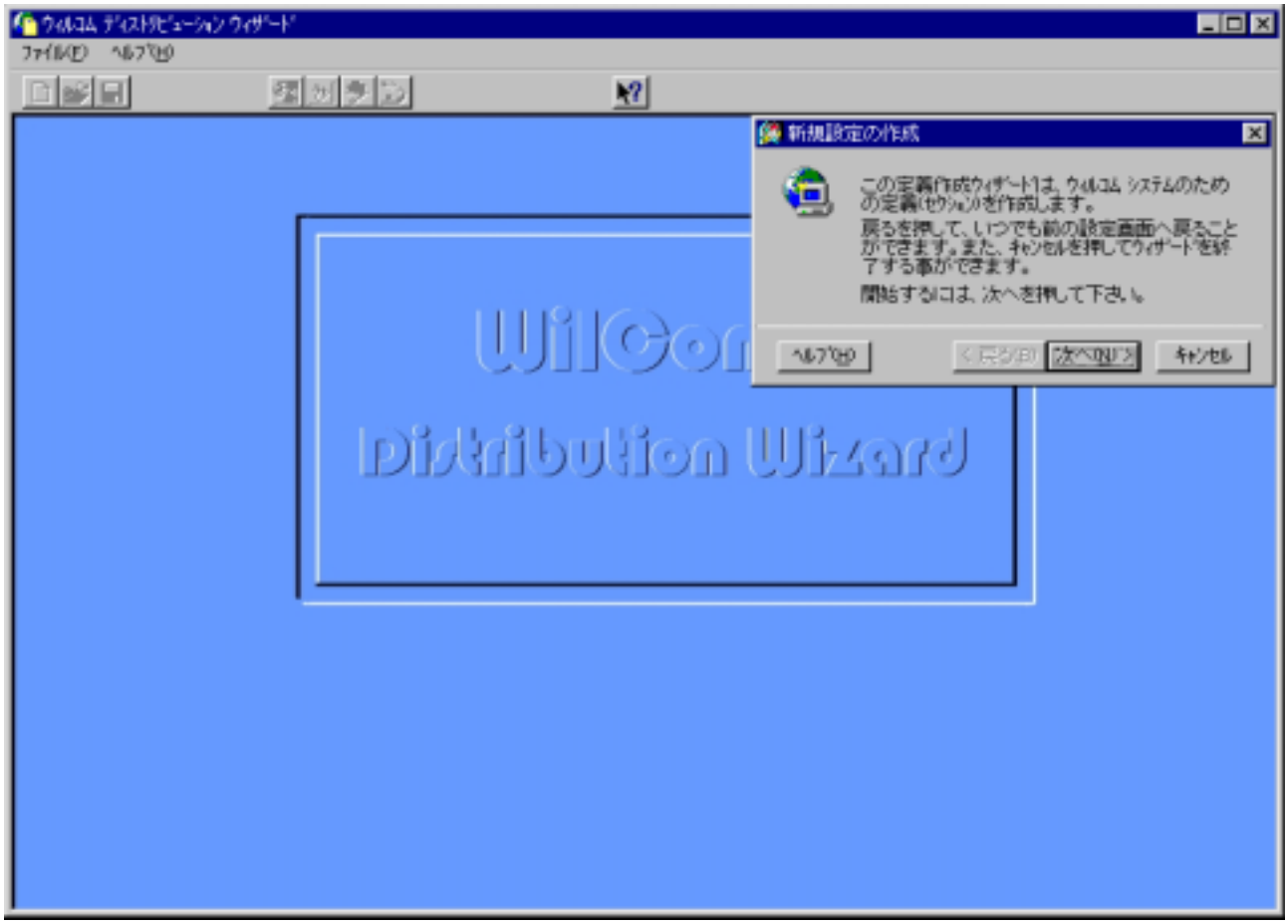
３．ディストリビューション・ウィザードの登録

AS/400 から取り込まれたスプールデータをスプールファイル名やユーザーデータ等で区別し
帳票毎に送信方法や、送信先アドレスの取得方法、使用するデザインフォーム等を指定します。

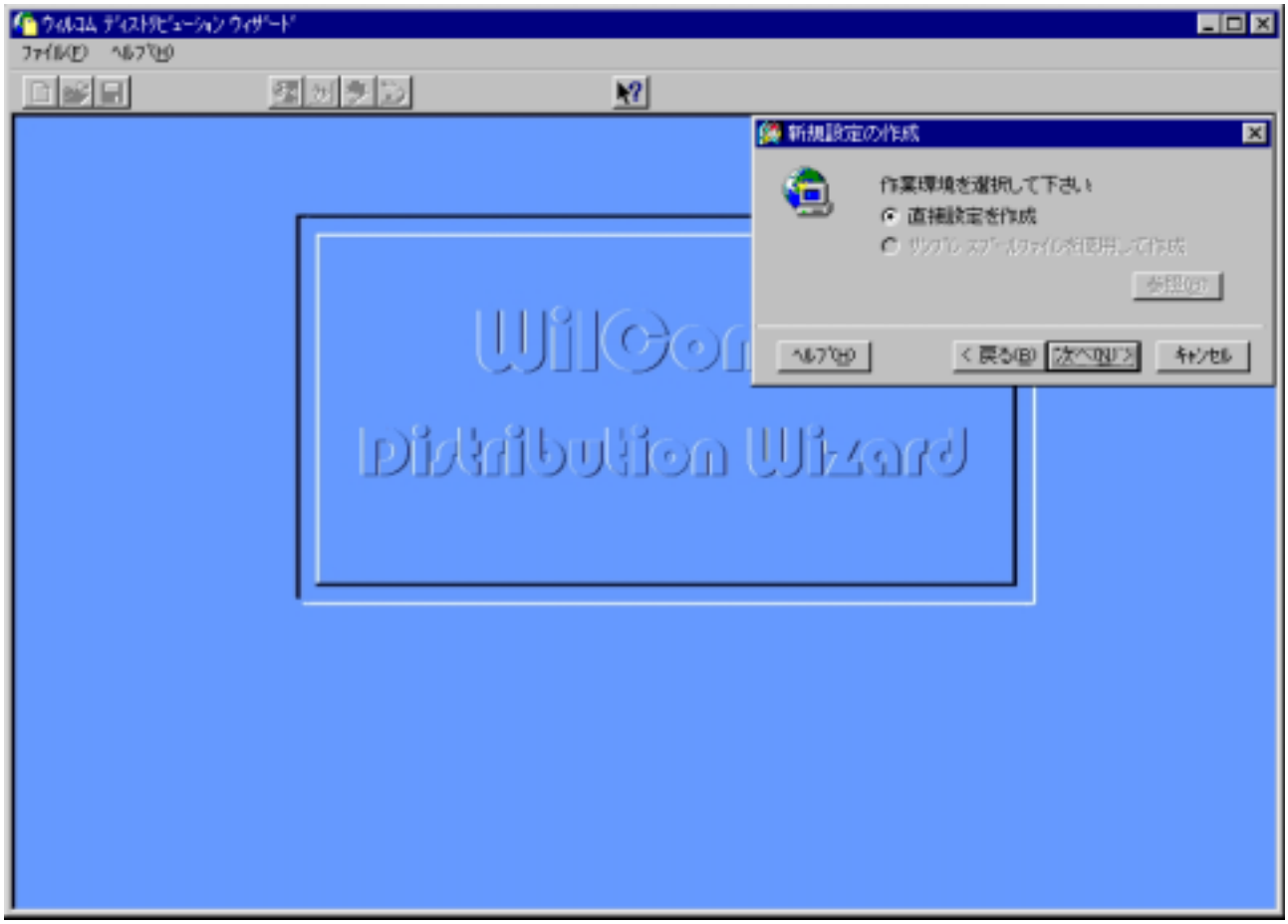
[スタート] – [プログラム(P)] ― [WilComm Universal] ― [Distribution Wizard]を実行します。



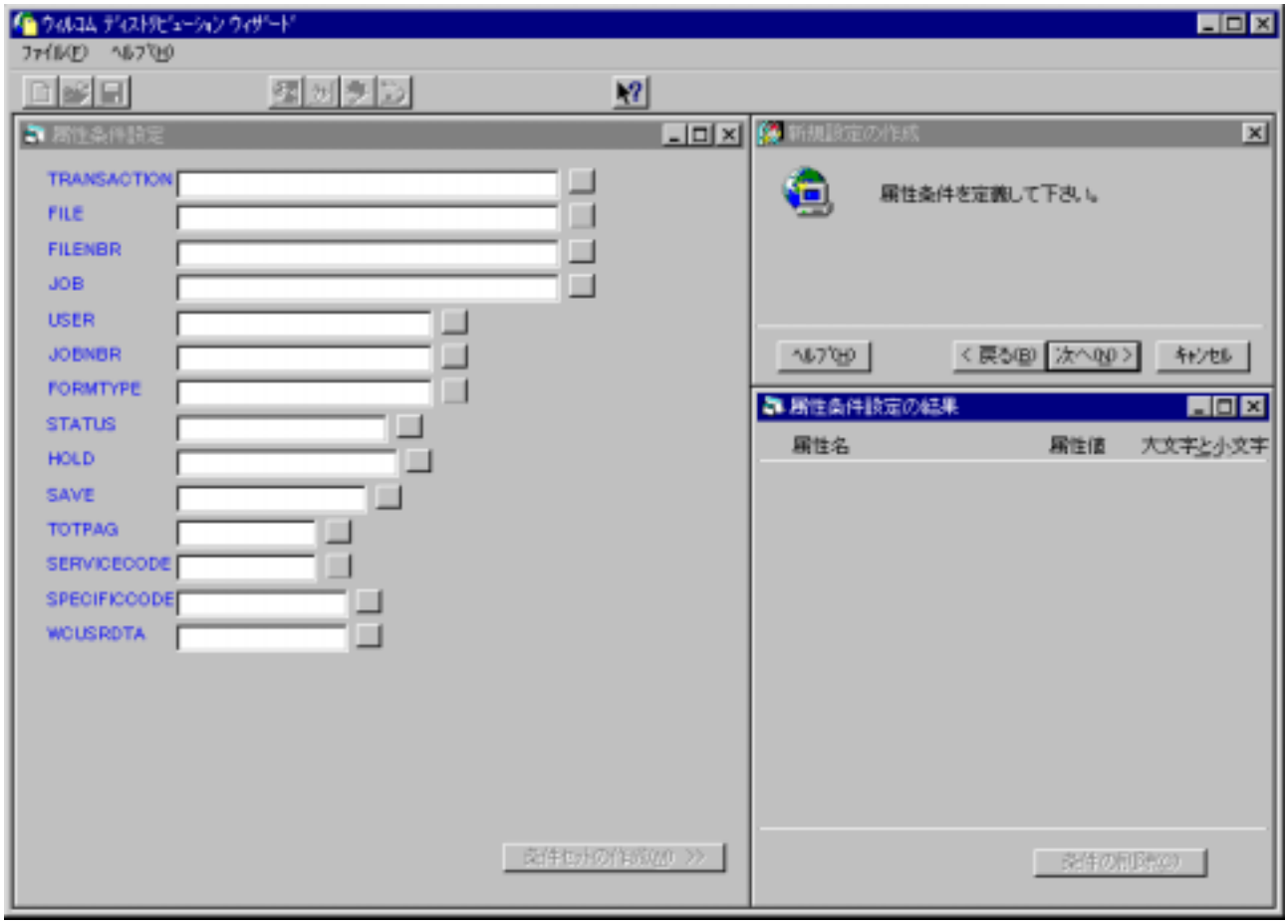
[ファイル] – [新規作成]を実行します。



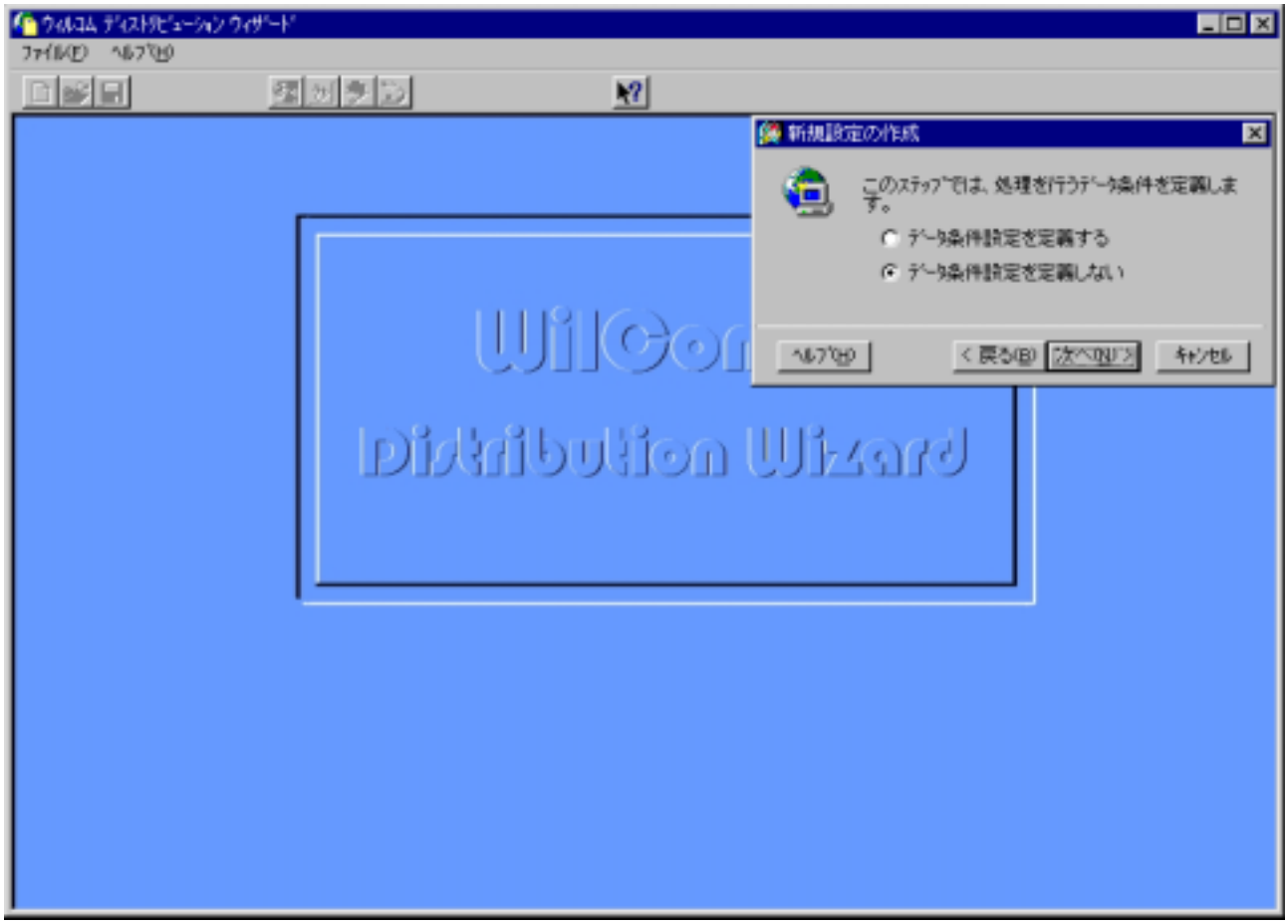
[次へ(N)>]ボタンを押します。



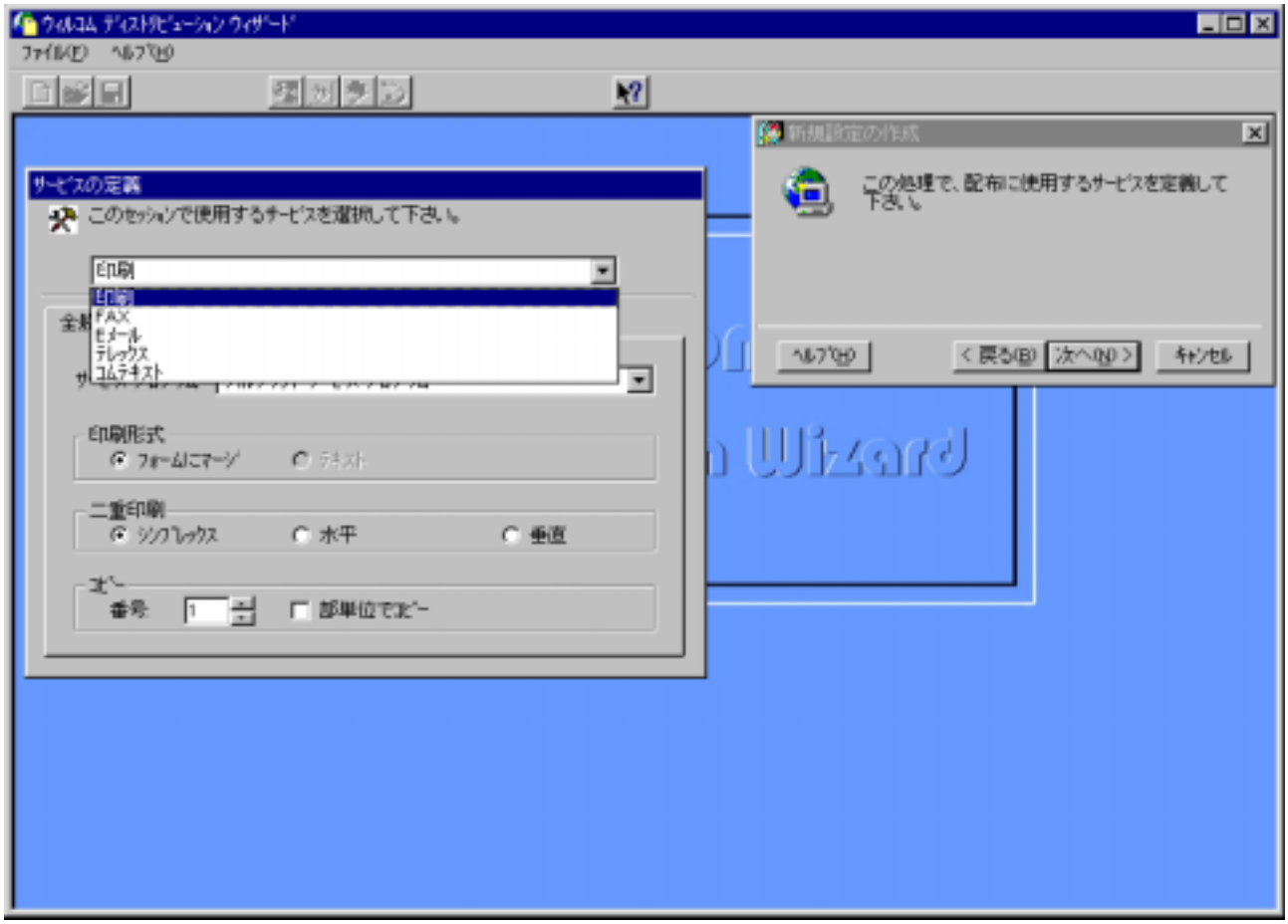
[次へ(N)>]ボタンを押します。



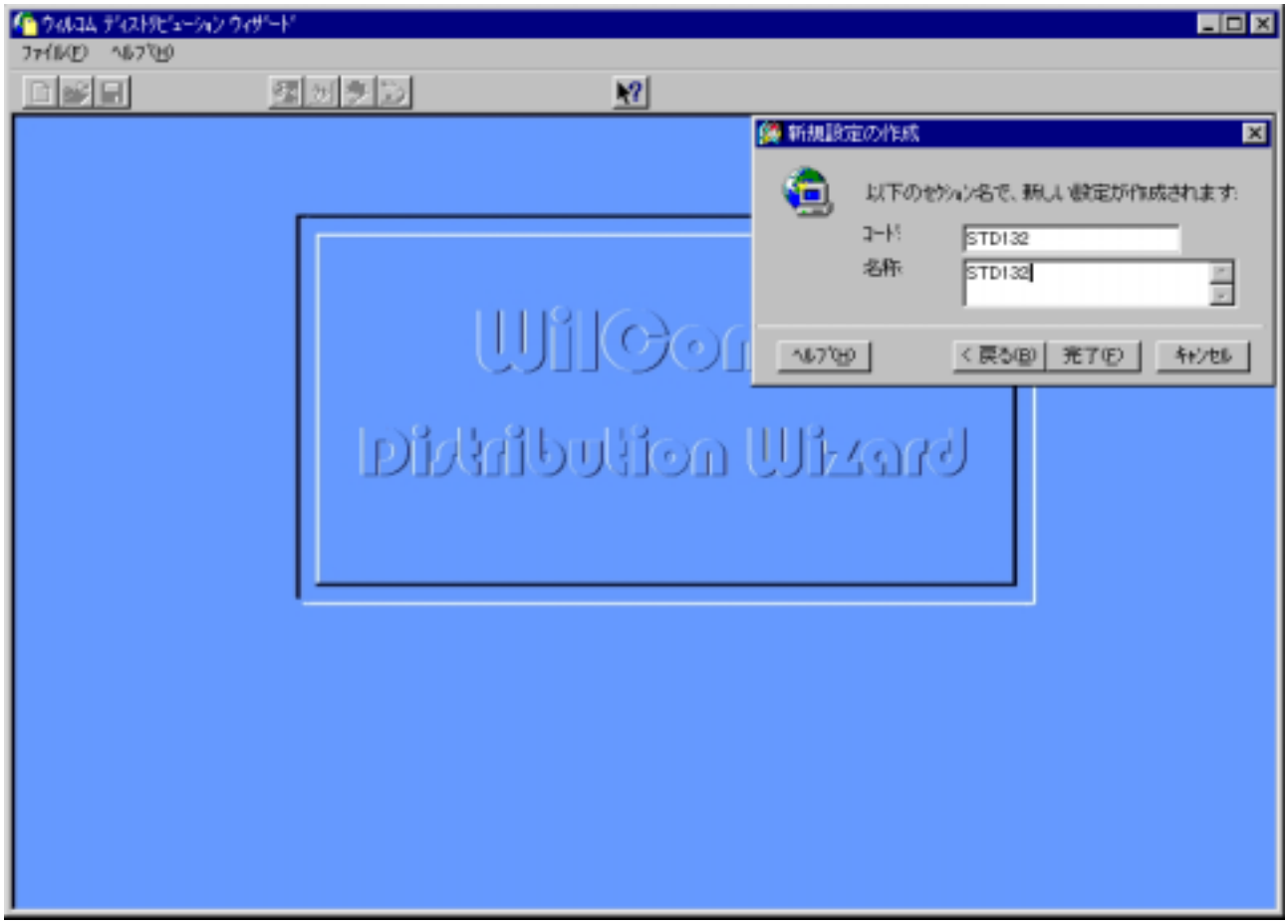
[次へ(N)>]ボタンを押します。



[次へ(N)>]ボタンを押します。

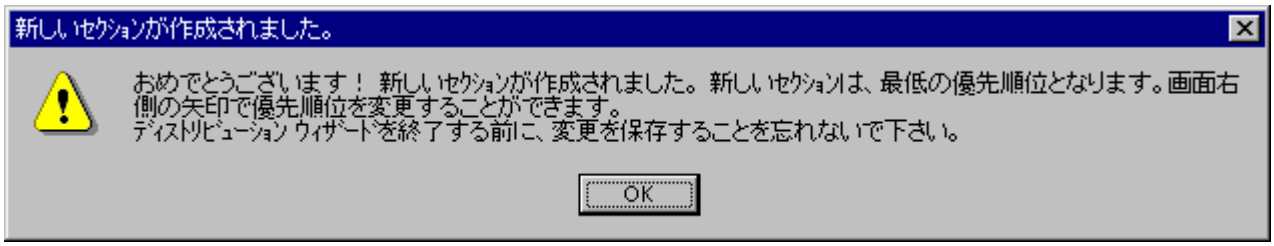


サービスを選択します。
印刷を選択した場合は、[アドレス]の事前定義プリンターを設定する必要があります。

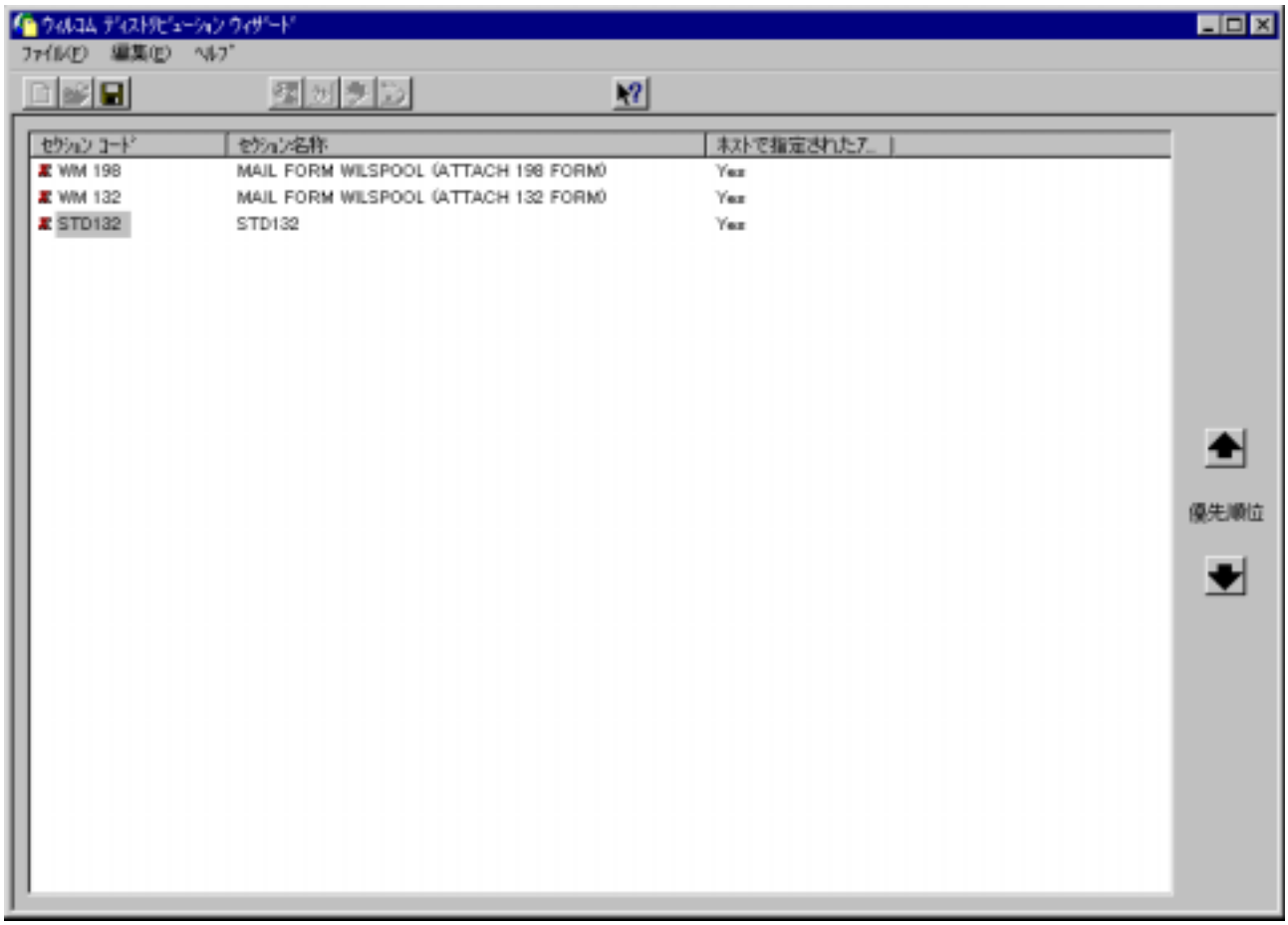


作成したセクションに名前を付けます。
できるだけ、英大文字、数字を使用して下さい。

[完了(F)]ボタンを押します。



[OK]ボタンを押します。



新規に作成されたセクションは、もっとも低い優先順位となっています。
右側にある矢印で、既存のセクションとの優先順位を変更できます。

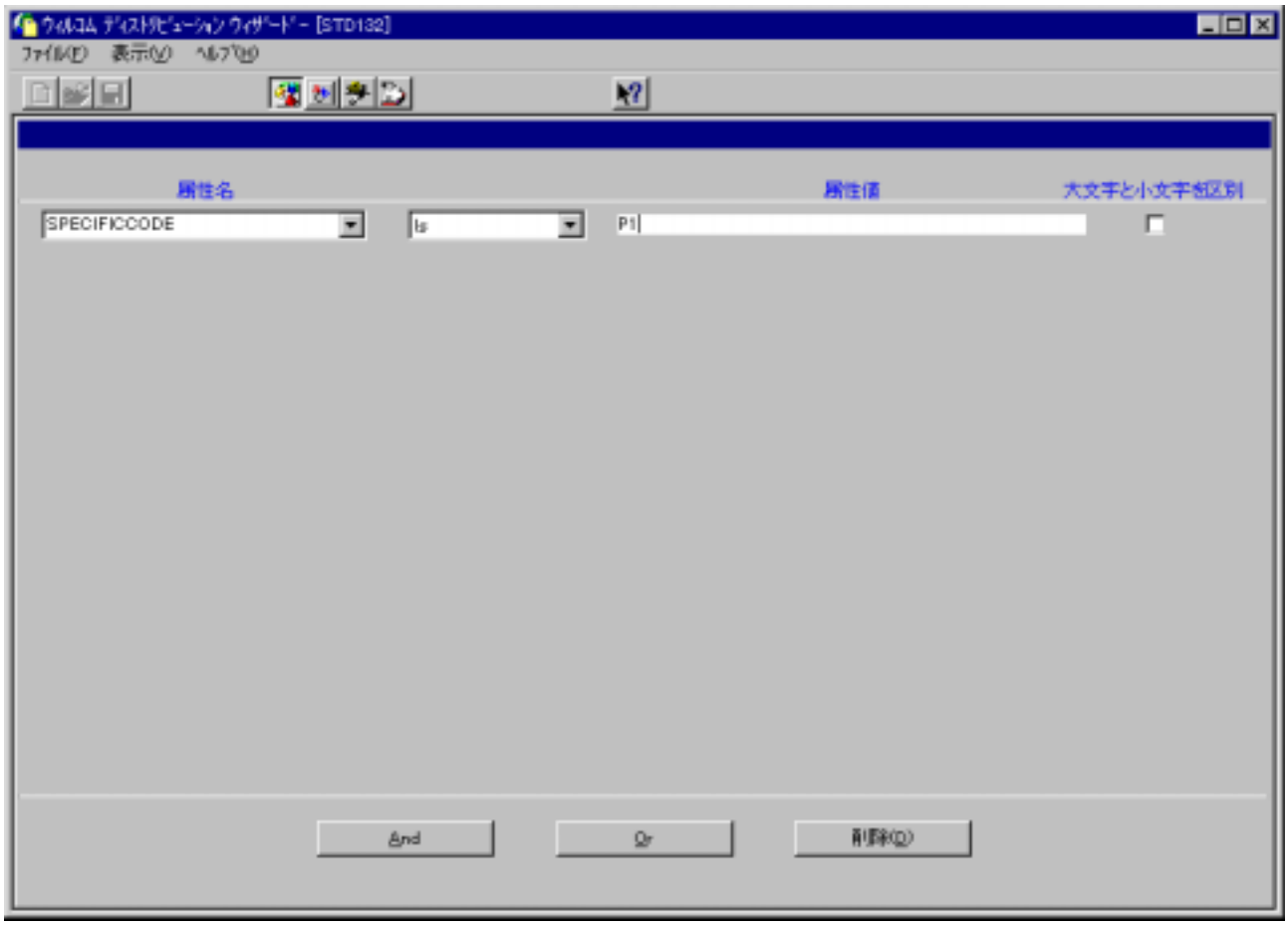
ウィルコムはディストリビューションウィザードのリストの上から下へ順番にセクションをチェックしていき、条件が一致するとそのセクションを処理します。通常はそこで処理が終了します。

セクションを多く作成する場合はセクションの優先順位に注意する必要があります。
通常、配信条件の厳しいものを上へ厳しくないものを下へ設定します。

実際に実行した時に予期しないフォームや配信方法で処理された場合は、セクションの条件、優先順位をチェックしてください。

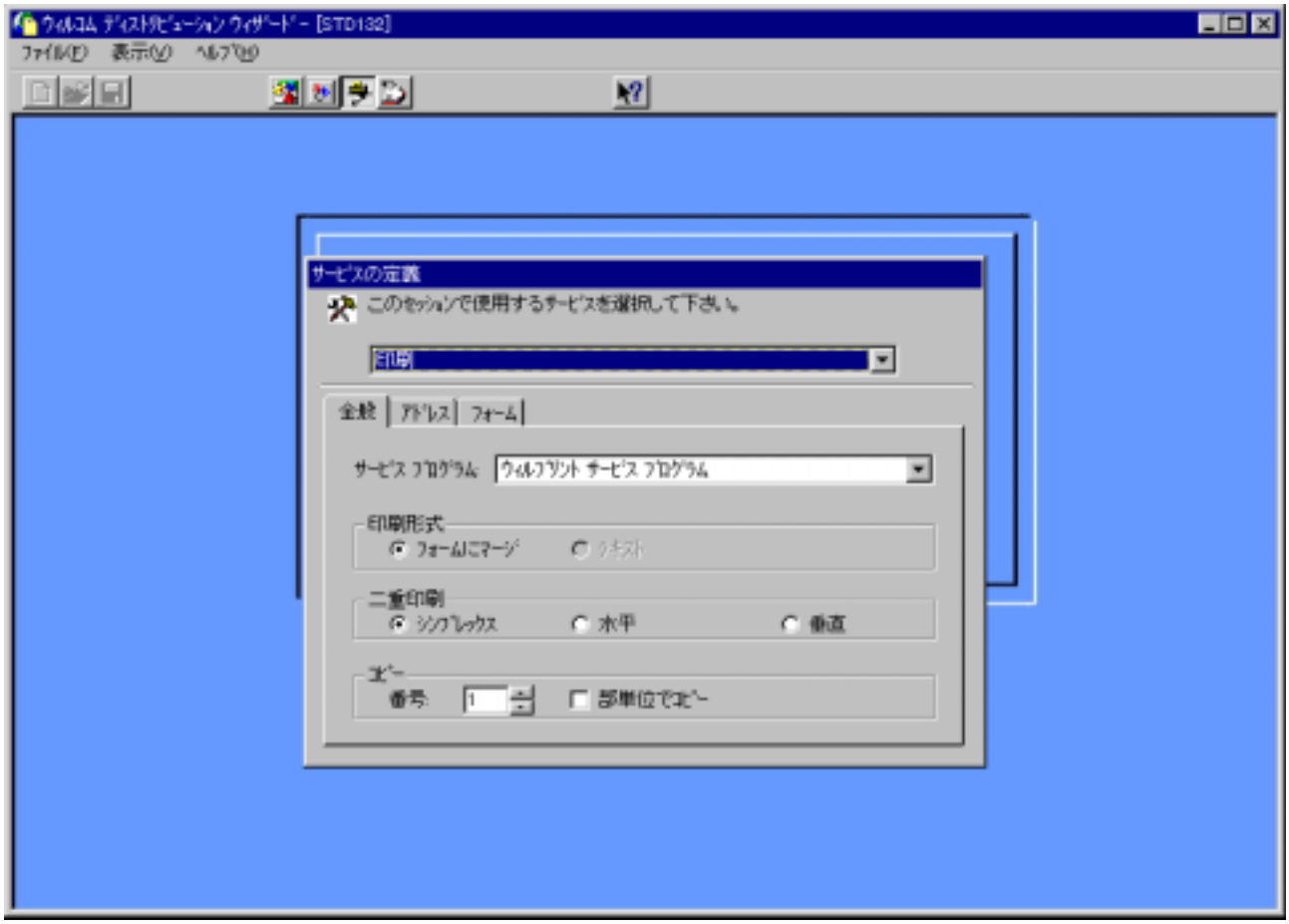
新規に作成したセクションをダブルクリックします。

[OK]ボタンを押します。

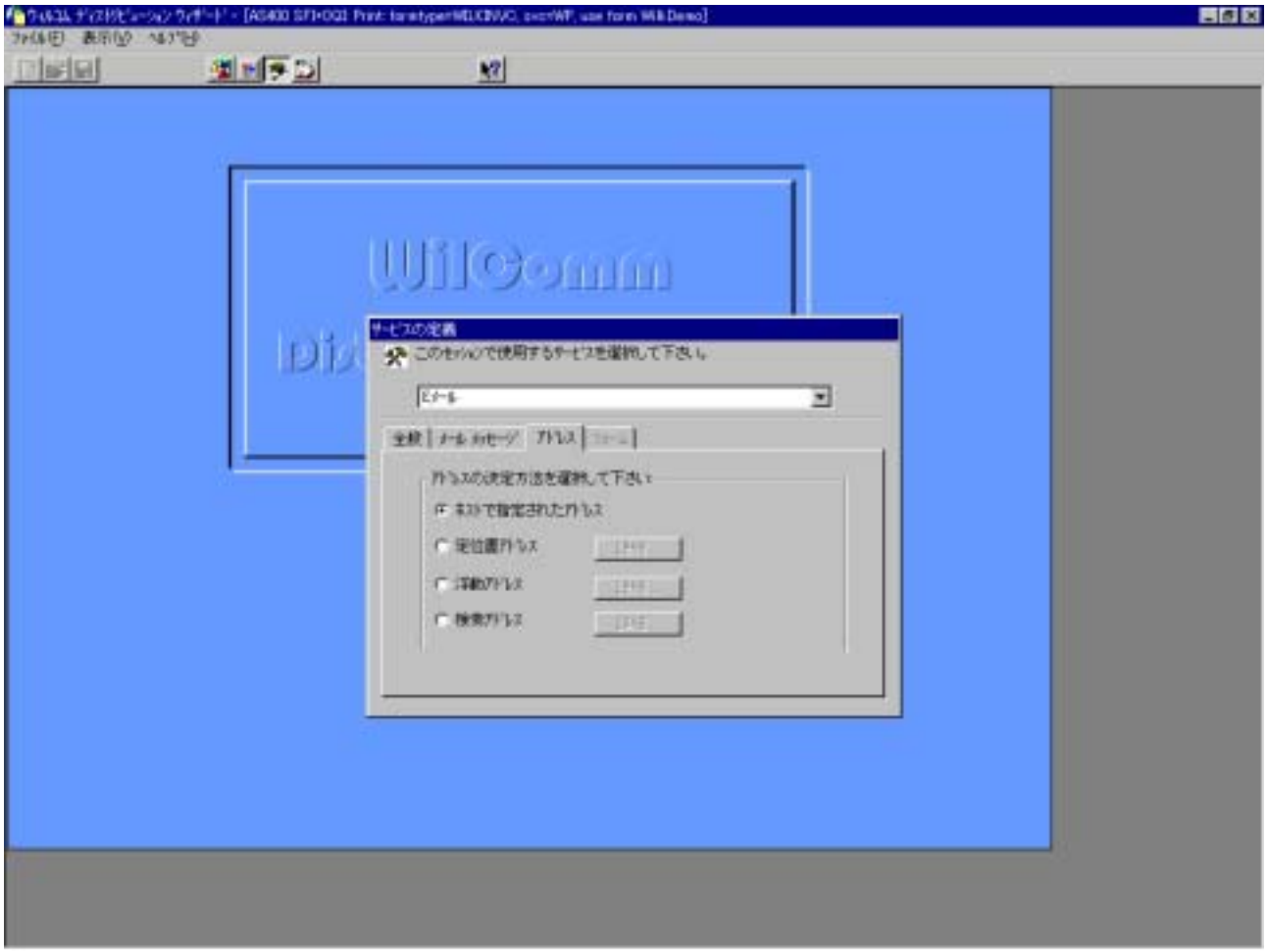


属性名に"SPECIFICCODE"、演算子を"Is"、属性値には AS/400 側で OUTQ に割り当てたスペシフィックコードを指定します。
これによって、特定の OUTQ に投入されたスプールのみが、このセクションによって処理されます。
（この例では、STD132 に投入されたスプールのみを処理する設定になります。）

[表示(V)] – [サービス設定(T)]を実行します。



[アドレス]タブをクリックします。
サービスはＥﾒｰﾙを選択し直します。



スプールファイルを送信するアドレス（宛先）を決定する方法には以下のものがあります。

・ホストで指定されたアドレス
　AS/400 側のサブスクライバーで指定したアドレスを使用します。

・定位置アドレス
　帳票に印字されている送信先アドレスの位置を指定します。

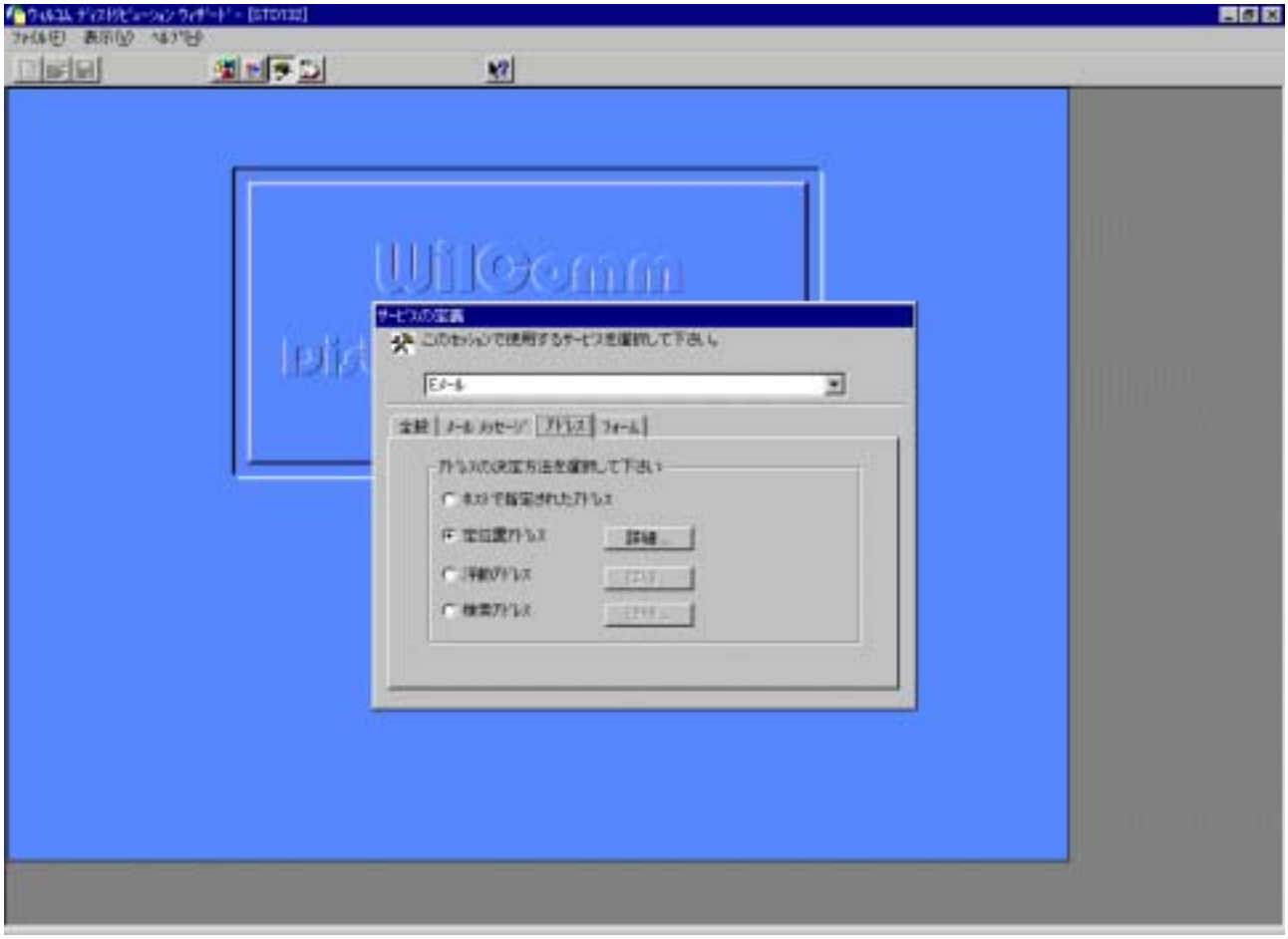
・浮動アドレス
　帳票に印字されているキーワード（１文字目）の位置を基準に、送信先アドレスの印字されている位置がキーワードから上下左右に、どれだけ移動した位置に存在するかを指定します。

・検索アドレス
　帳票に印字されているキーワード（顧客番号等）を取得し、ウィルコムのアドレス帖を検索させてアドレスを取得します。

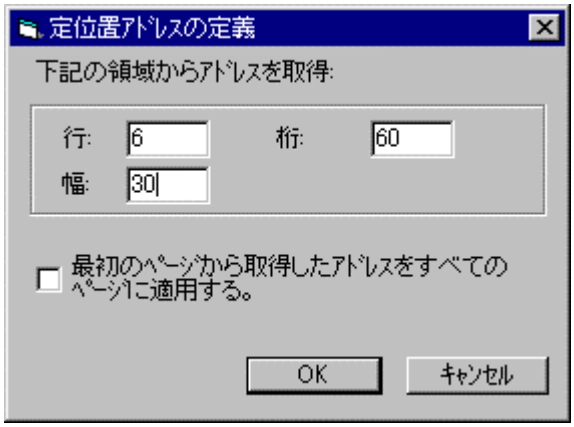
帳票に印字された宛先へ送信する方法

テスト用にＱＵＥＲＹで適当な帳票を作成します。
出力タイプおよび出力形式の選択で、カバーページの印刷は ”N” とします。
ページ見出しとフッターの指定は “Y” とし、ページ見出しに以下のように入力します。
MAIL:XXXXX@XXXXX.CO.JP
（XXXXX.XXXXX.CO.JP は送信先のメールアドレスを指定します。）

１．印字された送信先アドレスの位置を指定して送る方法

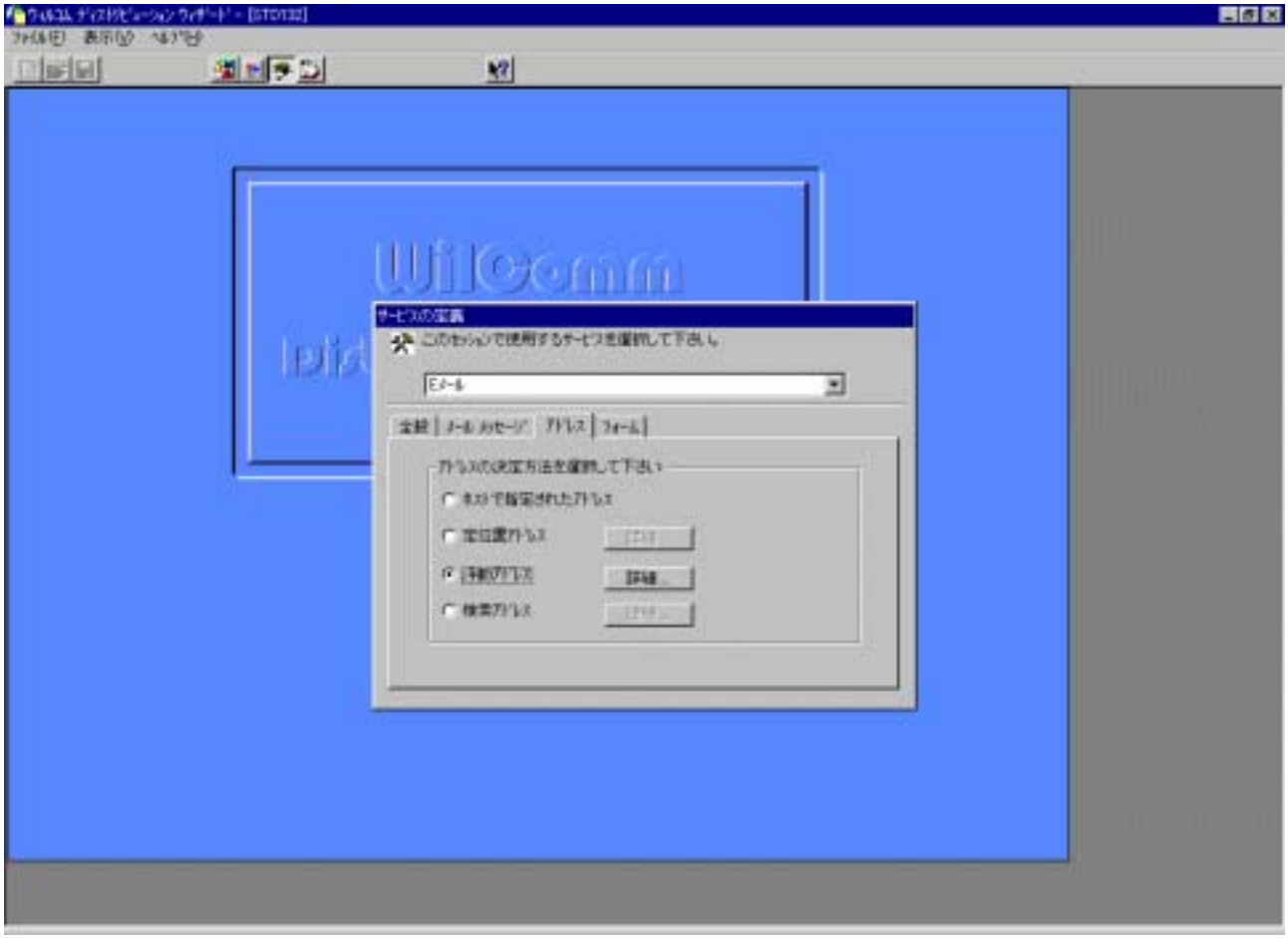


[定位置アドレス]のラジオボックスに印を付け、[詳細]ボタンを押します。

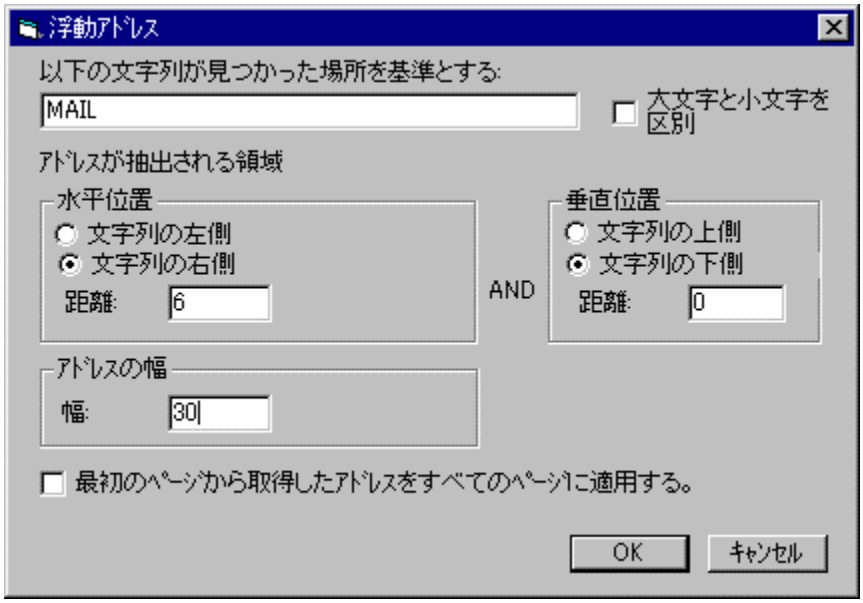


帳票に印字されている送信先アドレスの位置を指定します。
（上記サンプル画面では、６行目、６０桁目から３０桁の範囲となっています。）

２．印字された送信先アドレスをキーワードを元に検索する方法

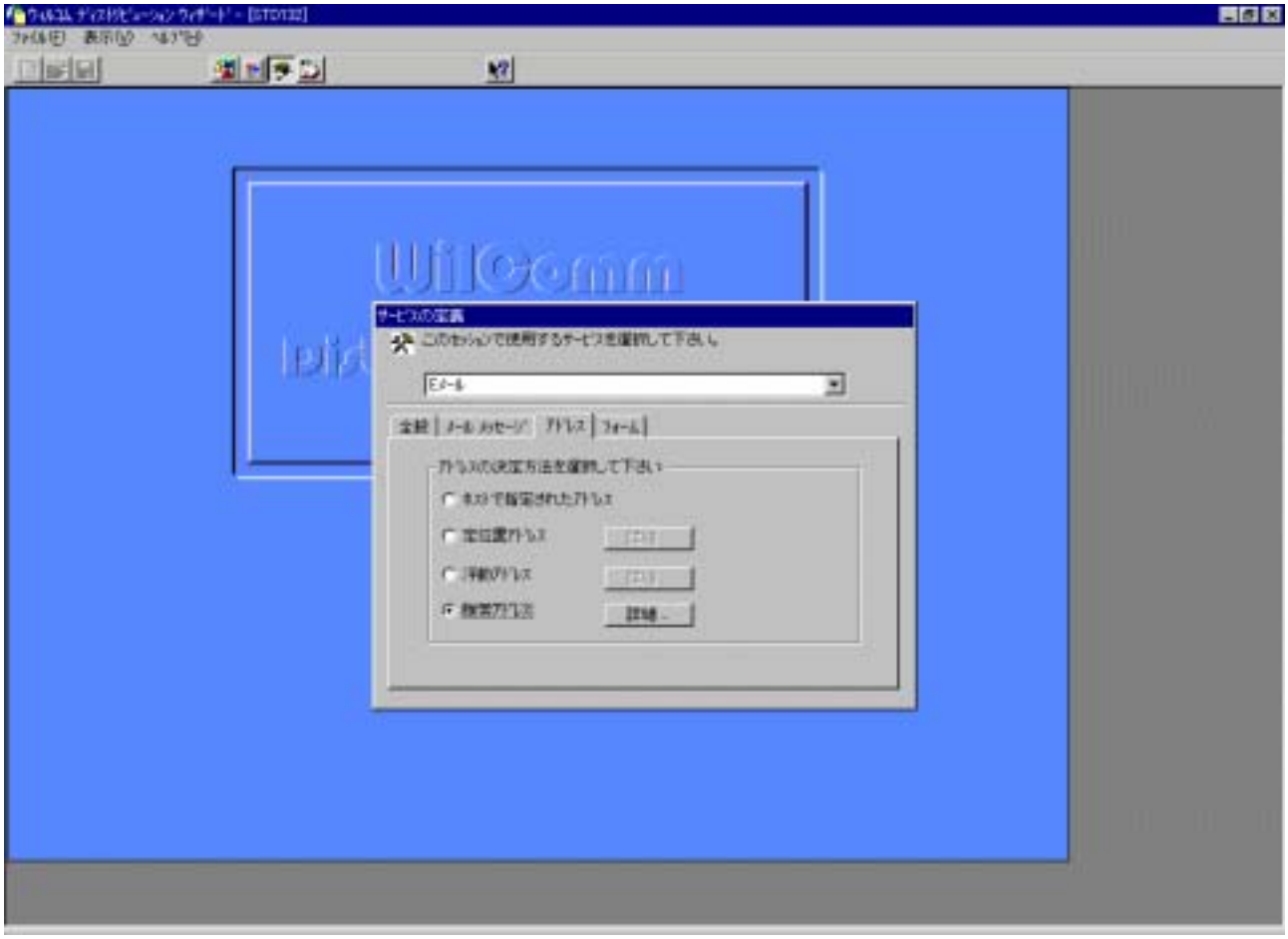


[浮動アドレス]のラジオボックスに印を付け、[詳細]ボタンを押します。

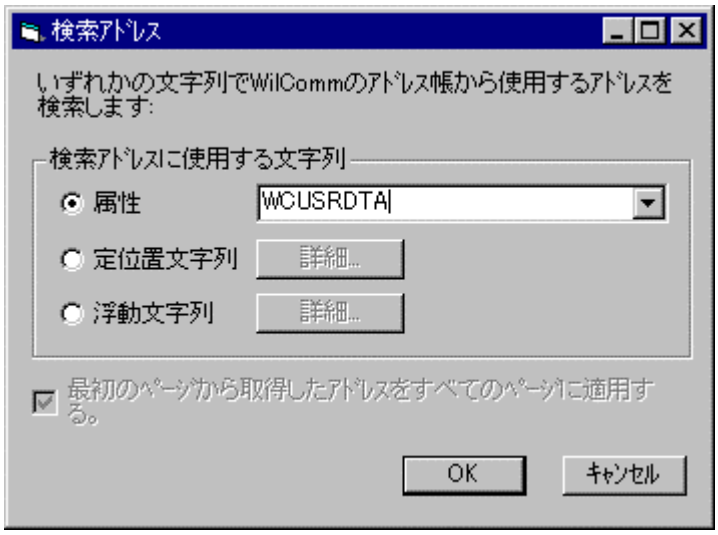


帳票に印字されているキーワード（１文字目）の位置を基準に、送信先アドレスの印字されている位置がキーワードから上下左右に、どれだけ移動した位置に存在するかを指定します。

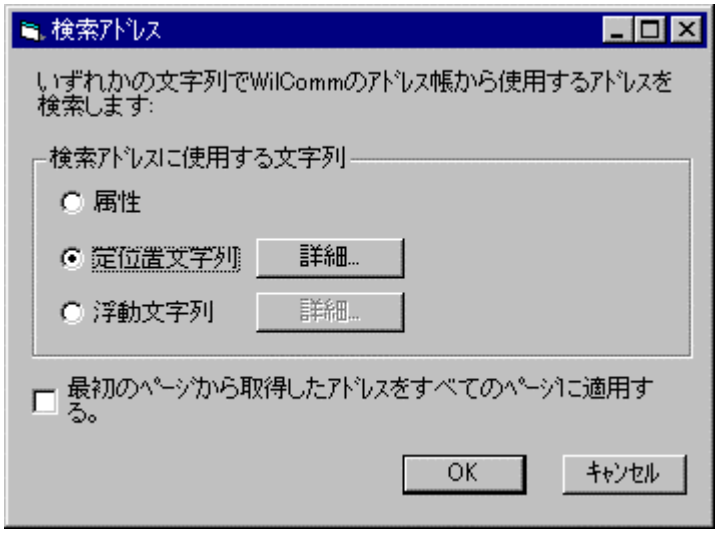
３．印字されたコードで、アドレス帖を検索して送信先アドレスを取得する方法



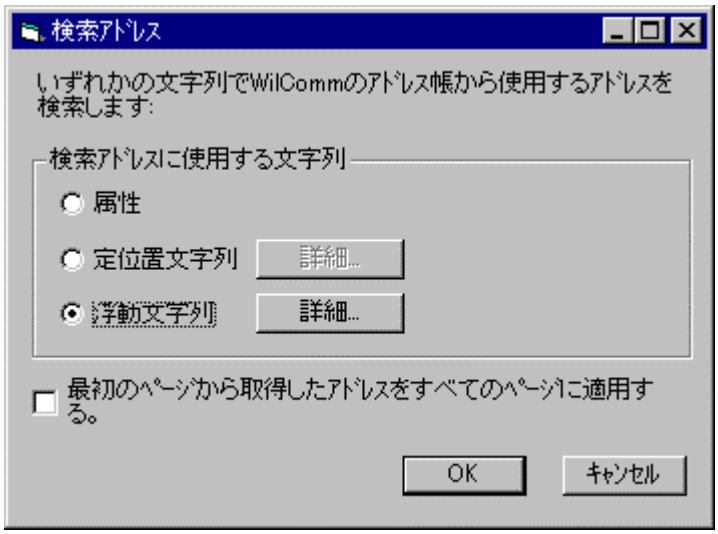
[検索アドレス]のラジオボックスに印を付け、[詳細]ボタンを押します。



属性を選択した場合には、スプールファイル属性の情報から、検索のキーとなるコードを取得します。
例では、スプールファイルのユーザーデータにセットされている値を使用する設定になっています。

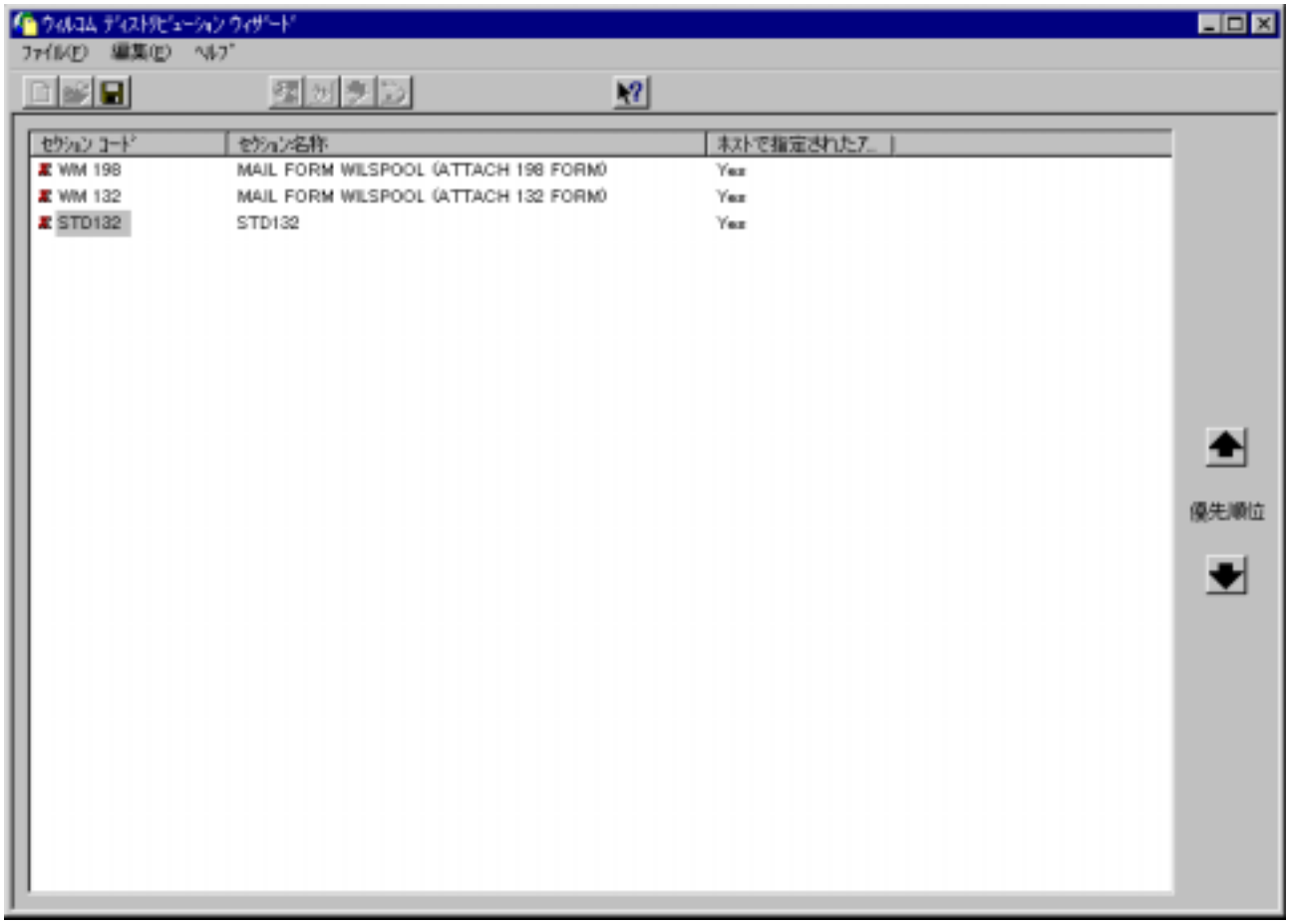


定位置文字列を選択した場合には、詳細ボタンを押して検索のキーとなるコードが印刷されている位置を定位置アドレスの場合と同様に指定します。



浮動文字列を選択した場合は、詳細ボタンを押して検索のキーとなるコードが印刷されている位置を浮動アドレスの場合と同様に指定します。

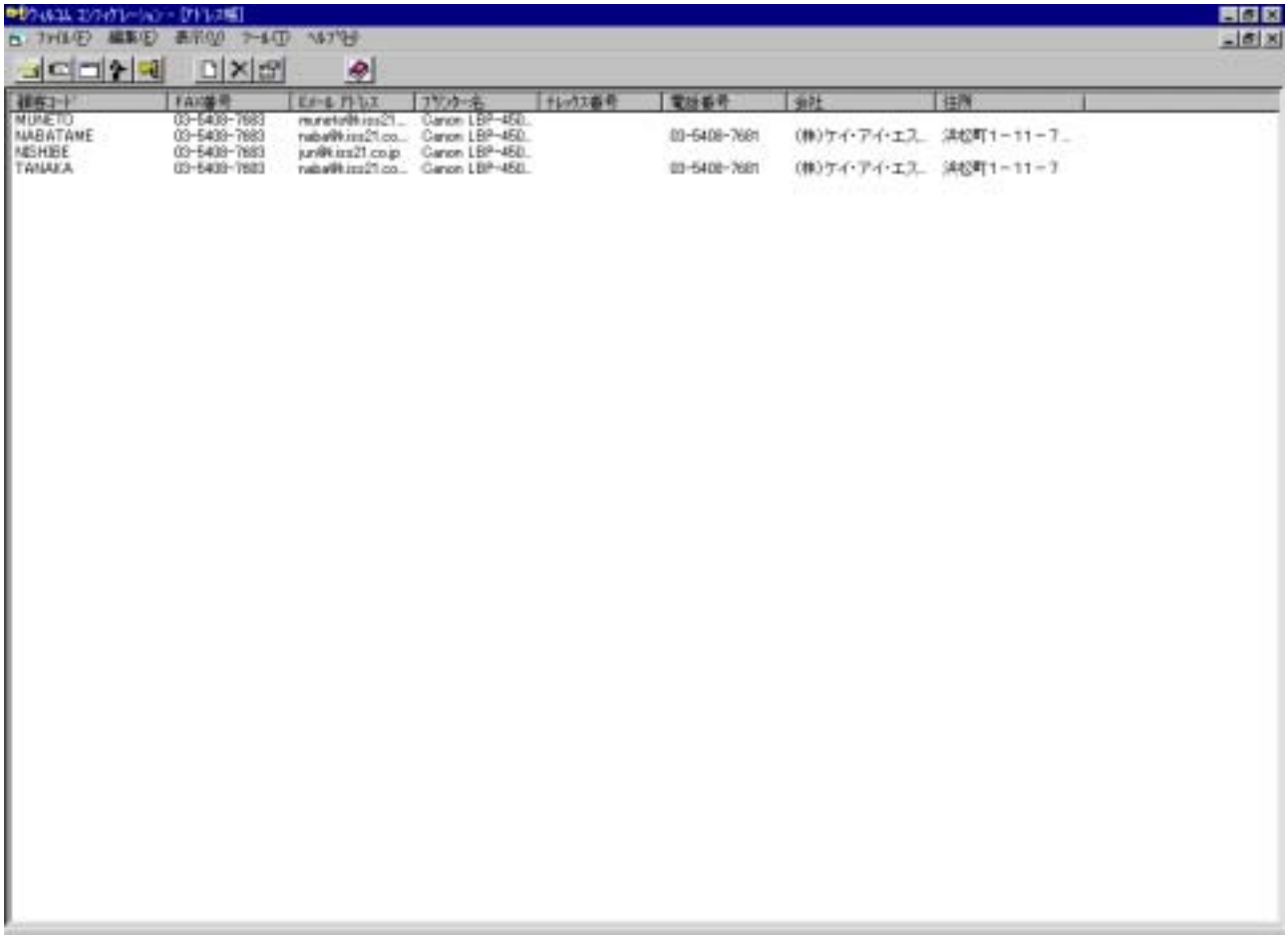
[表示(V)] – [メイン画面へ戻る(B)]を実行します。



ファイル(F)] – [上書き保存(S)]を実行して保存してからプログラムを終了します。

[スタート] – [プログラム(P)] ー [WilComm Universal] ー [WilComm Config]を実行します。

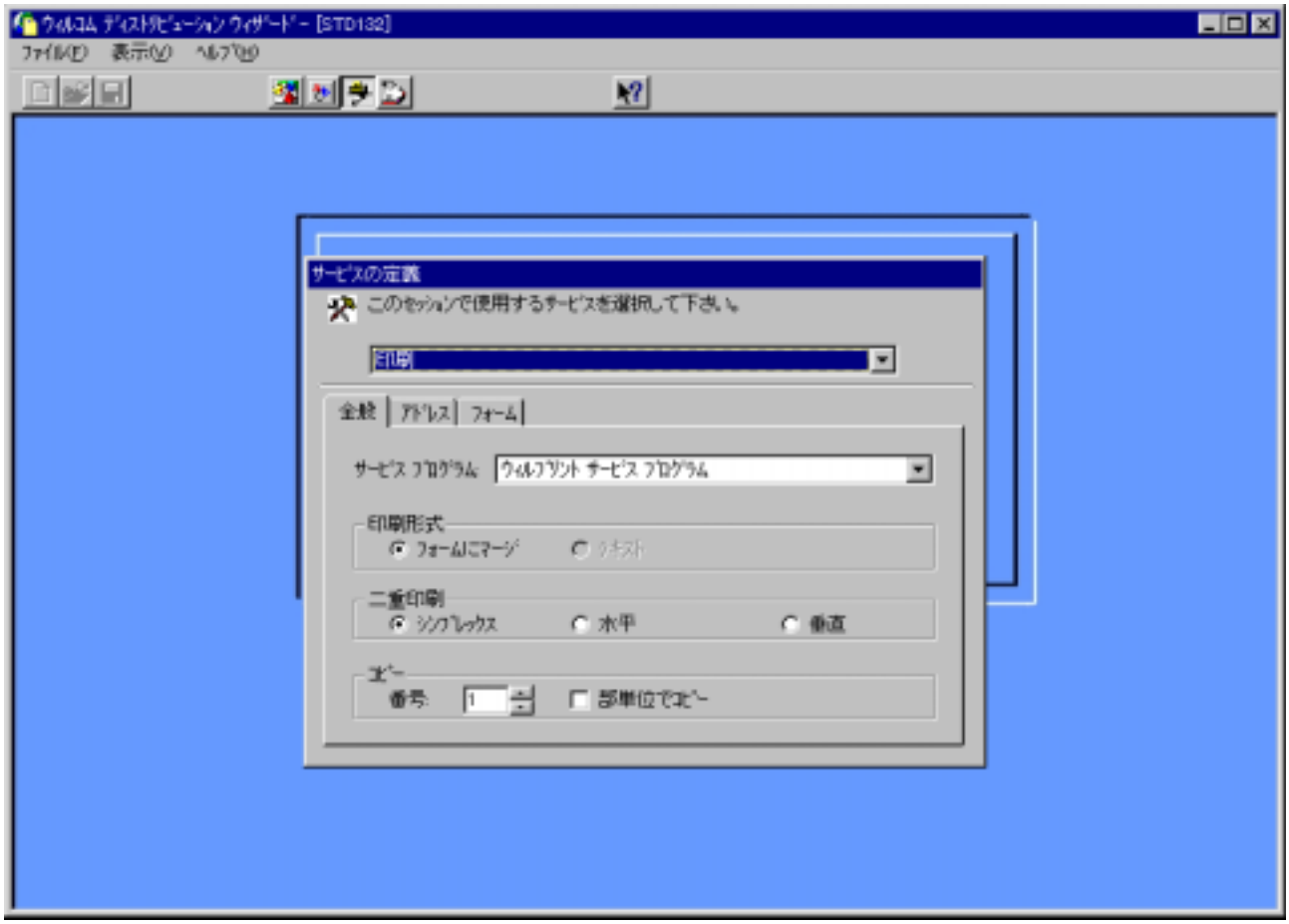
次に、[表示] – [アドレス帳]を開きます。



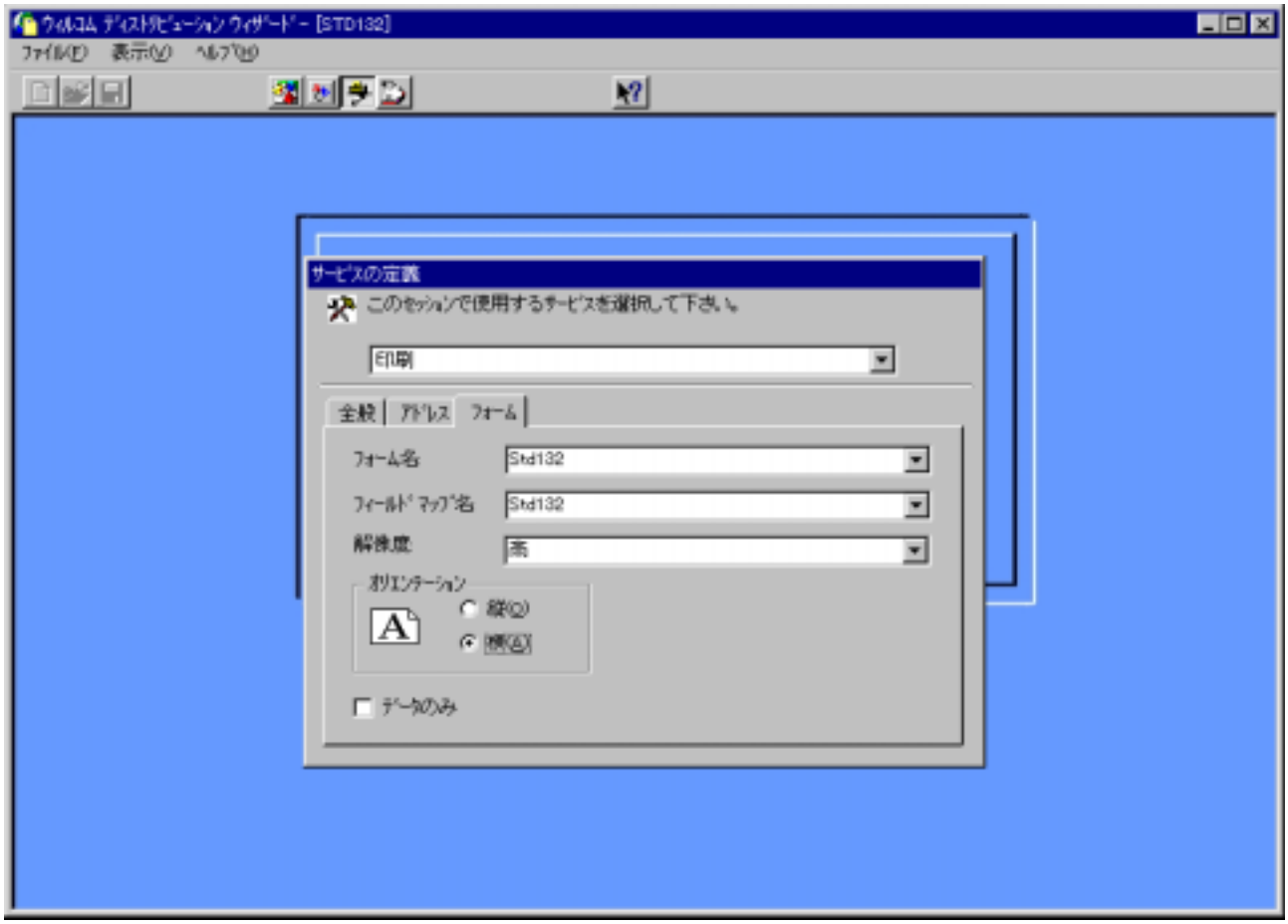
[編集] ー [新規作成]を実行します。

顧客コードに検索のキーとなるコードを入力します。
FAX 番号、Ｅメールアドレス、プリンター名のうち最低１箇所に送信先のアドレスを指定します。
それ以外の項目はメモ程度ですので、入力の必要はありません
ＦＡＸ、メール、プリントのうちどの宛先を使用するかは、Distribution Wizard で指定された
サービスのタイプに応じて選択／使用されます。
入力が終了したら[OK]ボタンを押します。
WilComm Config を終了させます。

ＰＣサーバーで動いている WilComm 関連プログラムを一旦すべて終了してから、WilComm 関連プログラムを
再起動して下さい。



サービスは印刷を選択し直します。
[フォーム]タブをクリックします。

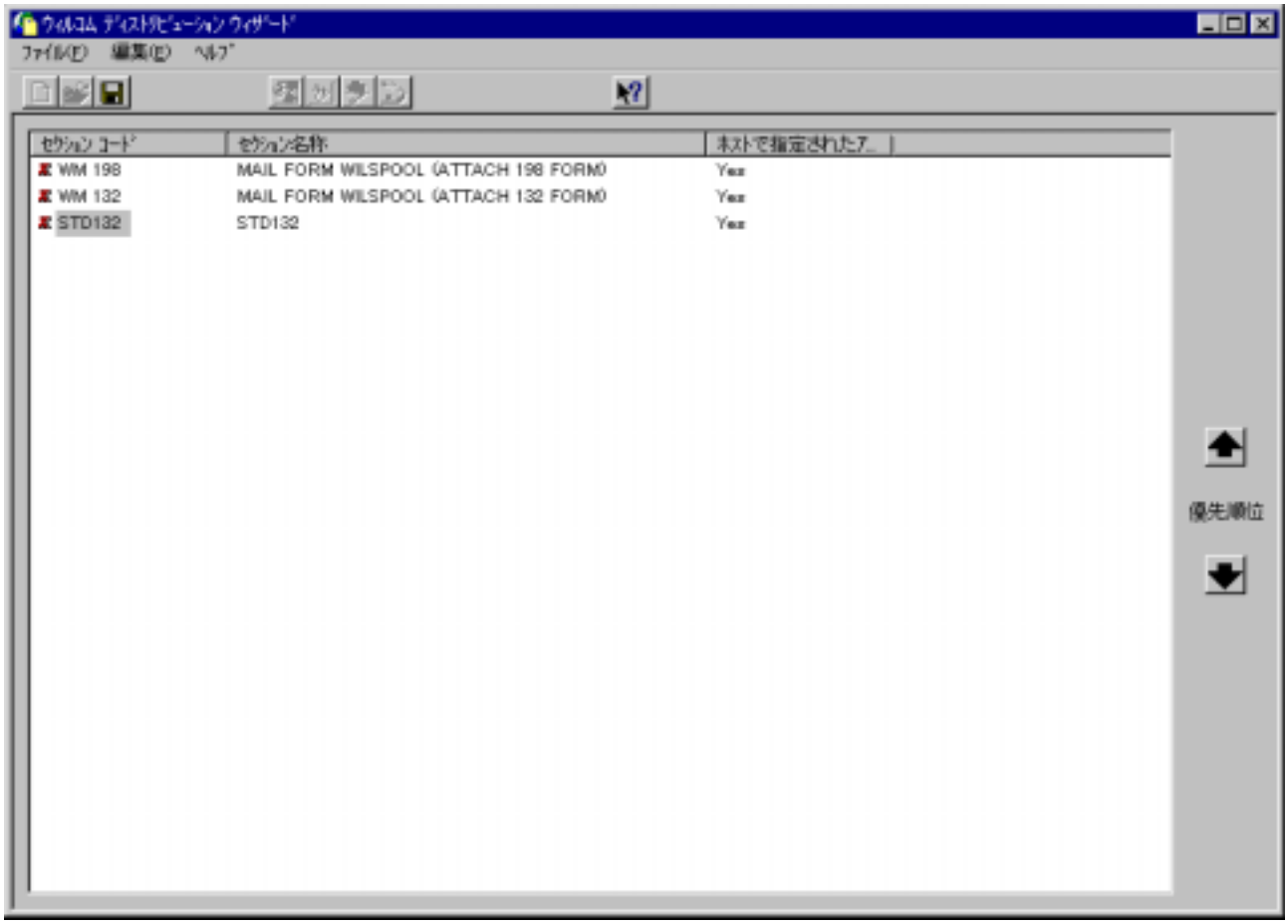


フォーム名、フィールドマップ名を指定します。

解像度は、できるだけ”高”を指定して下さい。
"高"以外の場合は、罫線や網掛けを印刷した時に線の太さや色の濃さによって正確に印刷されない可能性があります。

オリエンテーションは、用紙の向きを指定します。

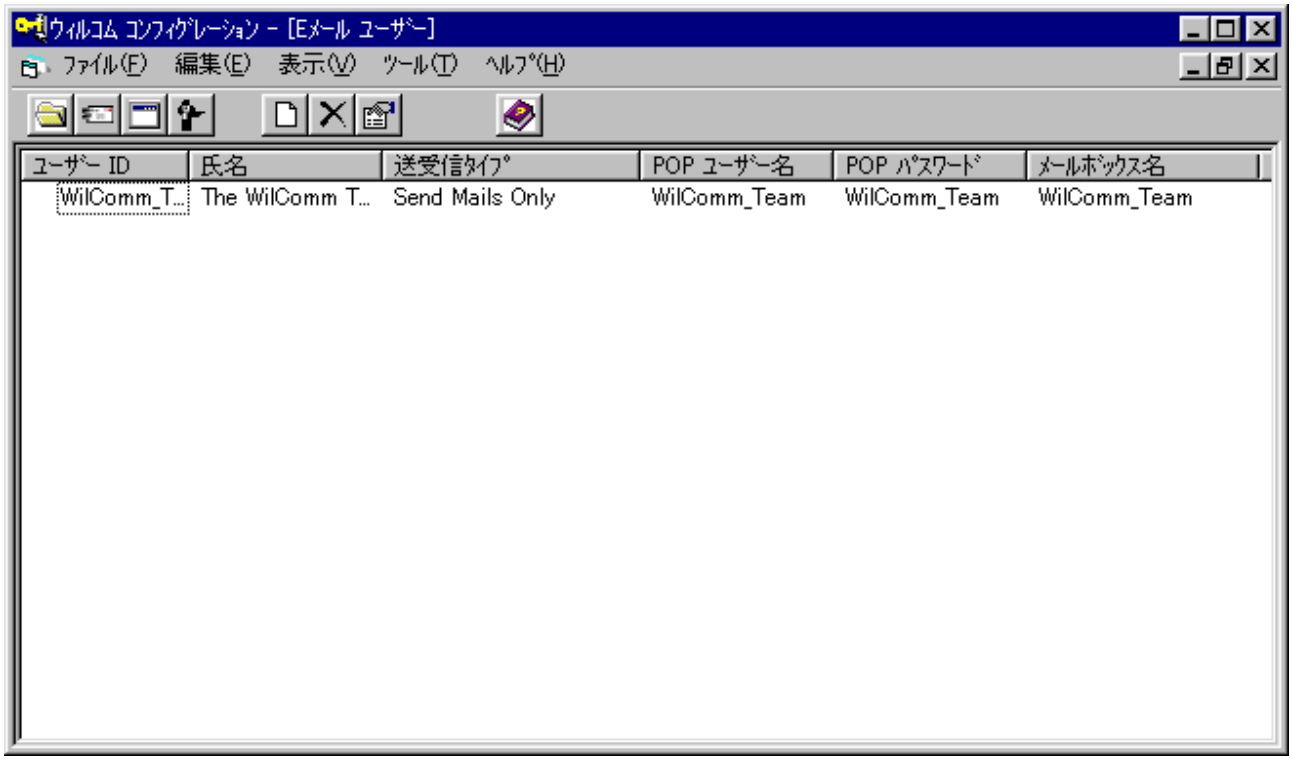
[表示(V)] – [メイン画面へ戻る(B)]を実行します。



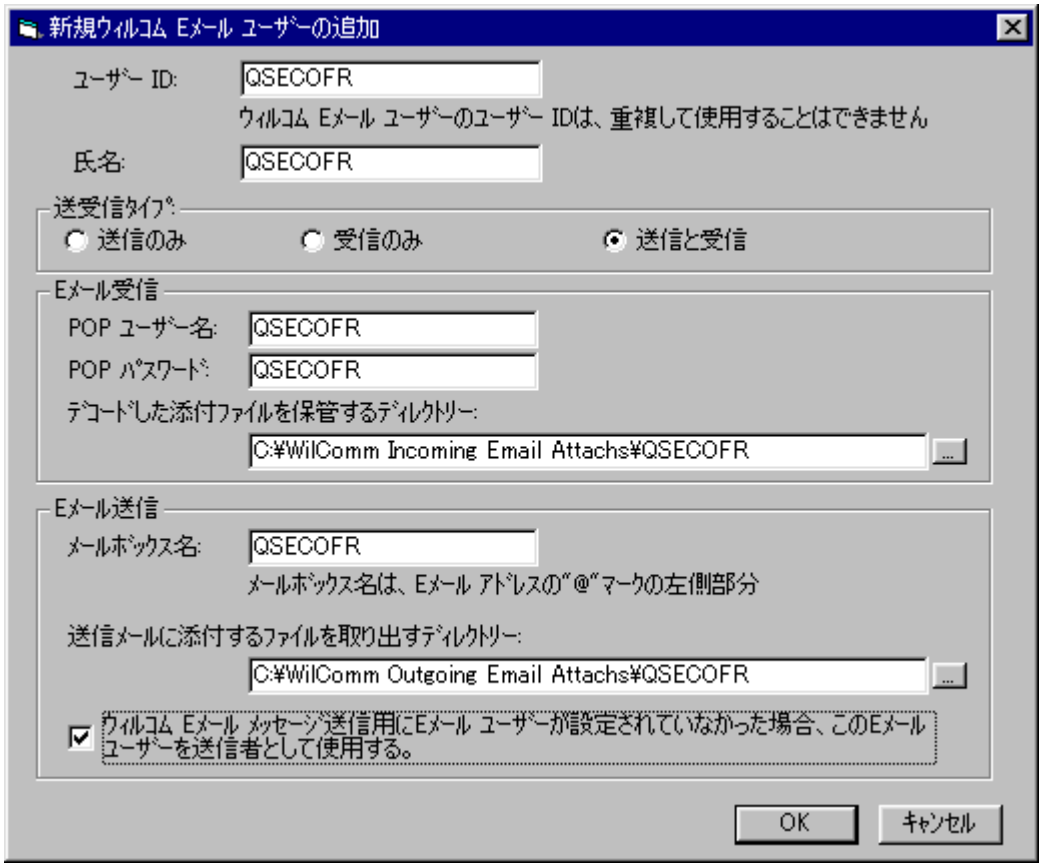
[ファイル(F)] – [上書き保存(S)]を実行して保存してからプログラムを終了します。
ディストリビューションウィザードの詳しい使用方法は、フォームのユーザーマニュアルを参照して下さい。

[スタート] – [プログラム(P)] ー [WilComm Universal] ー [WilComm Config]を実行します。

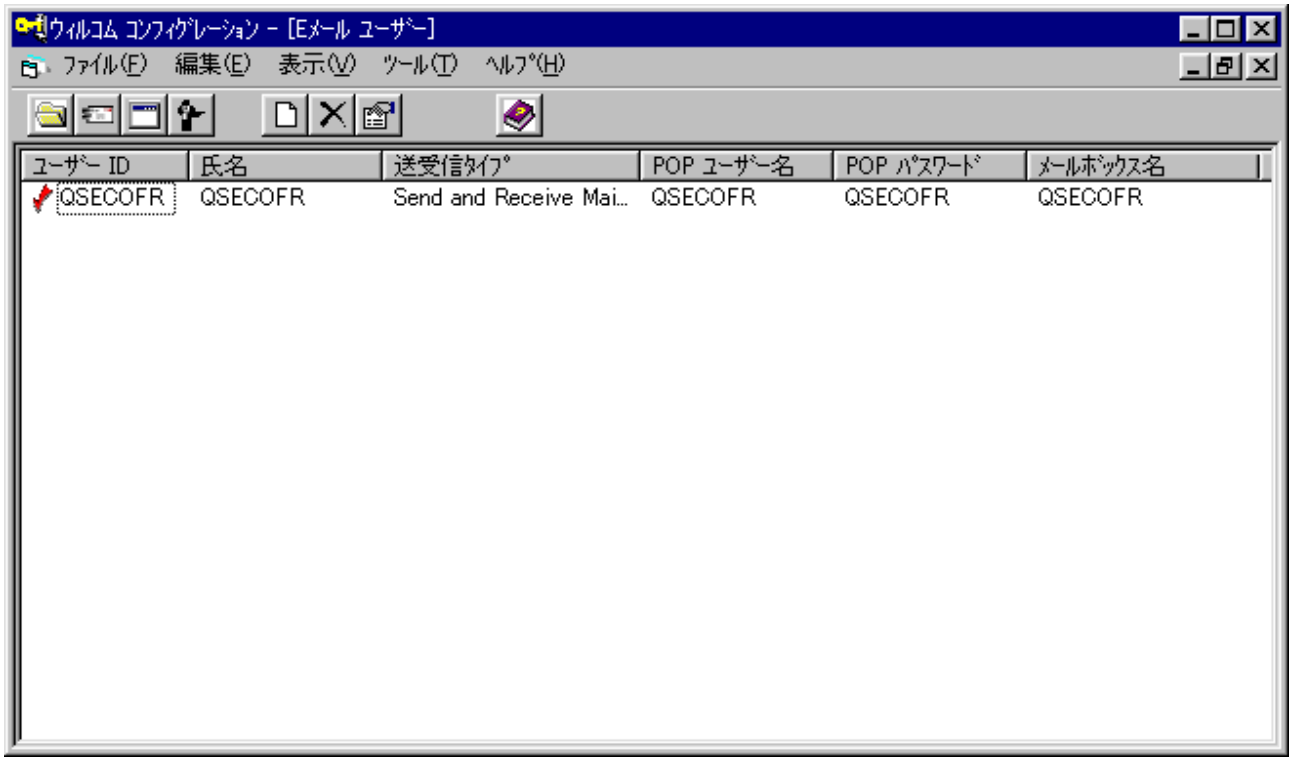
次に、[表示] – [E メール ユーザー]を開きます。



[編集] – [新規作成]を実行します。



画面イメージを参考に入力して下さい。
この画面では、AS/400 のユーザーQSECOFR に対して、メールアカウントを設定しています。
E メール受信の項目は、AS/400 でメールを受信する際に使用される項目です。
ＰＯＰユーザー名、ＰＯＰパスワード、メールボックス名等は、必要であれば適当な物に置き換えて下さい。
WilComm では、メール受信後、メールサーバー上のメールを削除しますので、AS/400 用に専用の
アカウントを設定することをお勧めします。
E メール送信の項目は、WilComm でメールを送信する際に差出人として使用されるメールアドレスとして
使用されます。(差出人は、AS/400 の帳票のオーナーが使用されます。)
[OK]ボタンを押します。



ＰＣサーバーで動いている WilComm 関連プログラムを一旦すべて終了してから、WilComm 関連プログラムを再起動して下さい。

これでＰＣ側の設定は終わりです。

スプールファイルの投入

スプールをＷｉｌＣｏｍｍ用に設定したＯＵＴＱへ投入します。
スプールは、サブスクライバーで設定した宛先へ送信されます。

実行状況の照会

コマンドラインから、GO W と入力して実行キーを押します。
WilComm のメニューが表示されます。

```
MN000701          WILCOMM スプールファイル配布管理システム
                                                    システム :   S103GWMM
 次の中から１つを選んでください。

      1. 新規メッセージの作成
      2. メッセージ・リストの表示
      3. ディレクトリー照会
      4. ディレクトリー・メンテナンス
      5. WILPLEX ユーザーへの AS/400 メッセージ送信
      6. 世界時計
      7. クイック・メッセージ表示
      8. クイック送信

     11. ウィルスプール・ユーティリティ

     40. ウィルコム OUTQ インターセプター・メニュー

     50. スプールファイル・インターフェース・メニュー
                                                          続く ...
 選択項目またはコマンド
 ===> 2
 F3= 終了   F4=ﾌﾟﾛﾝﾌﾟﾄ   F9=ｺﾏﾝﾄﾞ の複写   F12= 取消し   F13=ﾕｰｻﾞｰ･ｻﾎﾟｰﾄ
 F16=AS/400 ﾒｲﾝ･ﾒﾆｭｰ
 (C) 著作権 WILKINSON COMPUTER SERVICES                   VSN : 7.11
```

コマンドラインに 2 を入力して実行キーを押します。

送信した印刷物の状況画面が表示されます。

```
ﾌｫｰﾏｯﾄ: 1  QSECOFR     WILCOMM メッセージ・リスト                10:51AM  0/07/27
  ﾒｯｾｰｼﾞ        件名                                            状況
_ MSG01692   WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ  : FAX 装置                       FAX  送信済
_ MSG01693   <R> 54087683                                          FAX  送信済
_ MSG01694   WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ  : FAX 装置                       FAX  送信済
_ MSG01695   WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ  : 132 桁                         E-M  送信済
_ MSG01696   WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ  : 132 桁                         E-M  送信済
_ MSG01697   WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ  : FAX 装置                       FAX  送信済
_ MSG01698    インボイス                                           FAX  送信済
_ MSG01699   WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ  : PDF 変換                       E-M  送信済
_ MSG01700   NABA@KISS21.CO. 00/07/24 CSV ファイル送信             E-M  送信済
_ MSG01701   WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ  : FAX 装置                       FAX  送信済
_ MSG01702   WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ  : PDF 変換                       E-M  送信済
_ MSG01703   NABA@KISS21.CO. 00/07/25 CSV ファイル送信             E-M  送信済
_ MSG01704   <R>             33538670                              FAX  送信済
_ MSG01705   WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ  : PDF 変換                       E-M  送信済
_ MSG01706   WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ  : FAX 装置                       FAX  送信済
_ MSG01707   NABA@KISS21.CO. 00/07/25 CSV ファイル送信             E-M  送信済
1= 編集 2= 変更 3=ｺﾋﾟｰ 4= 削除 5= 表示 6= 印刷 7=ｱﾄﾞﾚｽ 8= 送信 9= 保留 0= 開放
F3= 終了   F4=ﾒｯｾｰｼﾞ 表示   F5= 最新表示   F6= 新規作成   F7=ﾌｫｰﾏｯﾄ 選択
F8=ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘｰ   F9=ﾕｰｻﾞｰ･ｵﾌﾟｼｮﾝ   F10=ﾌｨﾙﾀｰ   F11= 表示切替   F12= 前画面
(C) 所有権 WILKINSON CONPUTOR SERVICE ﾒﾙﾎﾞﾙﾝ ｵｰｽﾄﾗﾘｱ 1987-2000
WILCOMM/400 ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ 7.10
... 新規メッセージの作成には F13 を押して下さい。
```

一覧は、印刷物の所有者毎に処理した順に表示されます。
この画面では、処理されたスプール単位の状況が表示されます。

状況が、”E-M　送信済”、”FAX　送信済”、”MS-　送信済”以外の場合は、何らかのエラーが起きている状況ですので、ページ毎の状況を確認して下さい。

"E-M　送信済 <F”と表示されている場合は、全てのページが配信されていないことを示しています。例えばスプールが 3 ページあり、1 ページ目、2 ページ目は送信できたけれども 3 ページ目が送信できなかったような場合に表示されます。

この時に 3 ページ目を再送信し、成功すると"E-M　送信済 >R”と表示が更新されます。

"E-M　送信済 >R”は、全てのページの再送信を行い成功した場合に表示されますので、エラーのページが残っている場合は、"E-M　送信済 <F”の表示のままになります。

メッセージ番号の左側のオプション入力欄に、X を入力して実行キーを押します。

ページ毎の状況確認画面が表示されます。

```
 ﾌｫｰﾏｯﾄ: P        WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ  : DEMOFAX                11:14AM  0/07/27
OPT ﾍﾟｰｼﾞ ｻｰﾋﾞｽ 件名／宛先                        MSGID: MSG01709        状況
 _      1 FAX    0354087683                                              送信済
 _      2 FAX    0354087683                                              送信済
 _      3 FAX    0354087683                                              送信済
 _      4 FAX    0354087683                                              送信済

ﾌｫｰﾏｯﾄ 及び ｵﾌﾟｼｮﾝ の詳細は ﾍﾙﾌﾟｷｰ       F3= 終了   F5= 再表示   F11= 表示切替
```

FAX 送信処理が開始されると、件名／宛先欄に、送信先の FAX 番号が表示されます。
送信に失敗したページは、この画面から再送信することができます。

再送信を行いたい場合、該当ページのオプション入力欄に R を入力して実行キーを押します。

再送信の指定画面が表示されます。

```
QSECOFR              WILCOMM -  再処理要求                    11:18AM  0/07/27

MSG:  MSG01709
ﾍﾟｰｼﾞ:          1  0354087683

再送するページ数( このページを含む ): ___1   ( 最終ページまで送信するなら 9999)
OR        全てを再送信なら Y を入力   _

 新規配信 ｱﾄﾞﾚｽ        :
 ____________________________________________________________________
  0354087683


ｵﾘｼﾞﾅﾙ 詳細      :
ｱﾄﾞﾚｽ  : 0354087683
ｽﾃｰﾀｽ :          送信済
ｳｨｻﾞｰﾄﾞｾｸｼｮﾝ  : WF 132                    ｻｰﾋﾞｽ  :  FAX
 送信情報   :   11:07:14 27/07/00
 処理  MSG:
 補足       :  \00/07/27 11:05:28\64\4\2\1
 追加情報     :

                                   F10= 継続                  F12= 戻る
```

再送信するページ数の欄は、このページ以降、何ページ分を再送信するかを指定します。
FAX 番号に誤りがあった場合は、新規配信アドレス欄に正しい FAX 番号を入力して下さい。
F10 キーを押すと再送信されます。

オプション機能

```
ﾌｫｰﾏｯﾄ: 1  QSECOFR     WILCOMM メッセージ・リスト                10:51AM  0/07/27
  ﾒｯｾｰｼﾞ        件名                                              状況
_ MSG01692   WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ  : FAX 装置                        FAX  送信済
_ MSG01693   <R> 54087683                                            FAX  送信済
_ MSG01694   WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ  : FAX 装置                        FAX  送信済
_ MSG01695   WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ  : 132 桁                          E-M  送信済
_ MSG01696   WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ  : 132 桁                          E-M  送信済
_ MSG01697   WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ  : FAX 装置                        FAX  送信済
_ MSG01698    インボイス                                             FAX  送信済
_ MSG01699   WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ  : PDF 変換                        E-M  送信済
_ MSG01700   NABA@KISS21.CO. 00/07/24 CSV ファイル送信              E-M  送信済
_ MSG01701   WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ  : FAX 装置                        FAX  送信済
_ MSG01702   WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ  : PDF 変換                        E-M  送信済
_ MSG01703   NABA@KISS21.CO. 00/07/25 CSV ファイル送信              E-M  送信済
_ MSG01704   <R>             33538670                                FAX  送信済
_ MSG01705   WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ  : PDF 変換                        E-M  送信済
_ MSG01706   WILCOMM ｲﾝﾀｰｾﾌﾟﾀｰ  : FAX 装置                        FAX  送信済
_ MSG01707   NABA@KISS21.CO. 00/07/25 CSV ファイル送信              E-M  送信済
1= 編集 2= 変更 3=ｺﾋﾟｰ 4= 削除 5= 表示 6= 印刷 7=ｱﾄﾞﾚｽ 8= 送信 9= 保留 0= 開放
F3= 終了   F4=ﾒｯｾｰｼﾞ 表示   F5= 最新表示   F6= 新規作成   F7=ﾌｫｰﾏｯﾄ 選択
F8=ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘｰ   F9=ﾕｰｻﾞｰ･ｵﾌﾟｼｮﾝ   F10=ﾌｨﾙﾀｰ   F11= 表示切替   F12= 前画面
(C) 所有権 WILKINSON CONPUTOR SERVICE ﾒﾙﾎﾞﾙﾝ ｵｰｽﾄﾗﾘｱ 1987-2000
WILCOMM/400 ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ 7.10                                    ... 新規メッセ
ージの作成には F13 を押して下さい。
```

この画面から、F10 キーを押します。

```
QSECOFR                 メッセージ・リスト表示設定                 10:37AM  0/09/25
          メッセージ・リストに表示させる項目を選択して下さい。
 表示メッセージ・タイプ
   ﾛｰｶﾙ･ﾒｯｾｰｼﾞ：(ﾌｫｰﾏｯﾄ 1 ～ 7)              表示 (ﾌﾞﾗﾝｸ/Y)
        送信中 ............................        Y
        配布確定待ち ......................        Y
        宛名確定 ( 未送信 )................        Y
        宛先不明 ..........................        Y
        転送済み ..........................        Y
   受信 ﾒｯｾｰｼﾞ：(ﾌｫｰﾏｯﾄ I か J)
        転送前 ............................        Y
        転送中 ............................        Y
        追加要求無し ......................        Y
        回線不良 ..........................        Y
 検索
    検索する文字列を入力して下さい。 ：
                                 英大文字／小文字の無視 (N/Y): Y  置換可能文字 ： *
                                 検索 ﾒｯｾｰｼﾞ･ﾃｷｽﾄ  N
ﾕｰｻﾞｰ の組合せ
   著作者 ： *ALL                    ｱﾄﾞﾚｽ       ： *ALL
   送信者 ： *ALL                    作成者 ：      *ALL
 ｵｰﾅｰ     ： *ALL
 ロールアップで次のオプション設定画面へ      F12= 前画面
```

画面左下ｵｰﾅｰの欄にユーザープロフィールを指定すると、指定されたユーザーが処理したメッセージだけがリストに表示されます。
PageDown キーを押します。

```
QSECOFR                    メイン・リスト・フィルター                    10:37AM  0/09/25

 表示 ﾒｯｾｰｼﾞ 番号 (*-ﾜｲﾙﾄﾞｶｰﾄﾞ):

ﾀｲﾑ ﾚﾝｼﾞ
                                    日付      時刻      日付      時刻
  ﾒｯｾｰｼﾞ の作成 .................  ________  _____ TO ________ _____
   最終内部送信 .................  ________  _____ TO ________ _____
   送信済／送信予定  ............  ________  _____ TO ________ _____

      (ｼｽﾃﾑ 日付の形式で入力。２４時間時制。 ﾌﾞﾗﾝｸ は最大最小を自動設定 )


 表示順
    昇順表示 (A) 、降順表示 (D)....................................: D

ﾌﾟﾘﾝﾄ ｵﾌﾟｼｮﾝ
  ﾒｯｾｰｼﾞ 印刷の時の印刷 ｵﾌﾟｼｮﾝ:
            ﾒｯｾｰｼﾞﾃｷｽﾄ の印刷のみ ...................... 1
            ﾒｯｾｰｼﾞﾃｷｽﾄ と ﾍｯﾀﾞｰ 情報の印刷 ............ 2
            ｼｽﾃﾑ 詳細の印刷 ........................... 3

 ロールダウンで前のオプション設定画面へ      F12= 前画面
```

画面中段の表示順にＤを入力すると、新しいメッセージから順にメッセージリストへ表示されるようになります。